

# 名古屋芸術大学・大学院 後援会報

第61号 2016年9月30日発行

## CONTENTS

1	目次 後援会委員募集	26	就職セミナーのご紹介
2	ごあいさつ	29	各学部進路状況
3	後援会定期総会報告 前年度事業報告・今年度事業計画	31	先輩の活躍
4	新役員・委員一覧	33	親の想い
5	2015年度 後援会決算報告	34	子の想い
7	2016年度 後援会予算書	35	ブライトン大学訪問記
9	名古屋芸術大学近況報告	36	音楽学部主催による演奏会のご案内
20	学生部報告 2016年度 学生数	37	クラブ・同好会紹介
21	2016年度 行事予定	39	トピックス ピックアップ
24	アート&デザインセンター 展覧会スケジュール	43	大学組織図
25	2016年度 入学式	44	名古屋芸術大学・大学院後援会会則
		45	学校法人名古屋自由学院決算報告
		46	せせらぎ合唱団・壁の華 会員募集 編集後記

### 後援会委員募集

日頃は後援会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
皆様から頂いています後援会費は、公開講座、芸大祭やクラブ活動、国際交流等様々な活動の補助として役立てられています。

後援会では年4回程度の委員会もありますが、同じ子を持つ親同士の交流や、お会いできる機会の少ない学長先生から直接お話を伺えるなど、子供の学生生活を身近に感じる事ができる貴重な場であると思っています。

後援会に参加して、私達と一緒に楽しく子供の学ぶ大学を盛り上げていきませんか？

後援会では随時委員を募集しています。

子供たちの身近な場で、皆様とご縁がある事を願っています。

#### 【お問い合わせ】

電話：0568-24-0315（内線385番）

メールアドレス：kouenkai@nua.ac.jp

副会長 余吾めぐみ



## ごあいさつ



後援会長  
山田 貢

日ごろから後援会の活動にご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

去る5月15日の後援会総会において会長に選任されました山田貢と申します。

至らない点もあるかと思いますが、役員・委員の方々と共に頑張ることを考えています。

さて、新入生は入学後半年が経ち、大学に慣れ学生生活をエンジョイされているところかと思えます。

また、来年卒業を迎える方は、次の進路に向けて頑張ってみるか、まだまだ学業優先の方もみえると思われませんが、あっという間に半年が過ぎます。

学生時代は人生の中では非常に短いです。ぜひ悔いの無いように学生の皆さんには、勉学・活動に励み、希望

溢れる将来に向かって頑張りたいと思います。

なお、後援会の活動についてですが、会則には「本会は、名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする」と記されています。

具体的には、学生の課外活動の援助や大学の正常な運営への寄与、保護者の希望を大学に反映させる活動などです。この目的を忘れずに、諸活動の後援を進めてまいります。

名古屋芸術大学は秋以降、多くの作品展・演奏会・ミュージカル・オペラなど開催されます。

そこでご家族の方へのお願いですが、学生達の作品や活動を、ご友人等お誘い合わせの上、是非観に行ってくださいと思います。

演奏会などは満席にすることにより、テンションが高くなりより良い演奏会になりますのでよろしく願います。

最後になりますが、2017年度から大学もボーダーレス化され、今までの音楽学部・美術学部・デザイン学部が融合された「芸術学部 芸術学科」に改編されます。

後援会も大学の変化に遅れることなく、良きサポーターとなれるよう進めていきたく、皆さんのご理解ご協力を宜しくお願い致します。



学長  
竹本 義明

昨年からの大学の改革・改編について情報をお知らせしていますが、芸術学部・芸術学科の設置について文部科学省から設置届出が受理された旨の連絡があり、本格的に学生募集を行っています。

今回の大学改革は「ボーダーレス」として、様々なものが融合した新たな枠組みによる創造を目指し、学生がいままで培ってきた学部の専門性を維持し、多くのことに挑戦できるようにしました。

改革の目的は社会が大きく変化する中、スペシャリストの育成から、ジェネラリストを目指し、学生にとって大学卒業後の将来を希望あるものにすることが目標です。

毎年卒業生を対象に就職率調査を実施していますが、

本学は芸術系大学としては就職率が高く推移しており、内容としては就職先が従来からの専門性を活かした職業から、一般企業への就職が目立つようになり、学生が確実に選択肢を広げ確かな仕事に就くようになっていきます。

就職、就業力を高めるため現在の若者の就業意識を理解し、いわゆるミスマッチを改善する必要があり、大学ができることは、職業観や能力に関する社会人基礎力を養うことが重要です。学生が自身の能力を最大限に向上させ、どのような場面においても対応できるように学ぶ環境を設置することが大切と考えています。

すでに2016年度に「音楽ケアデザイン」「カーデザイン」「インダストリアル&セラミックデザイン」の各コースを展開していますが、今回、日本の芸術系大学で初めてとなる「芸術教養領域」を設置し、デザイン領域に「文芸・ライティングコース」を2017年度からスタートさせ、既存の学部にも影響を与え、大学が大きく飛躍することを期待しています。

保護者の皆様には学生が望むことがあれば、是非勇気づけ自信を持って自らの進路を歩めるよう声をかけていただきたいと思います。引き続き後援会の皆様にはご理解とご支援をお願いいたします。

## 2016年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 定期総会

2016年5月15日(日) 10:00より、西キャンパスにおいて、「2016年度名古屋芸術大学・大学院後援会定期総会」が開催されました。

### 2015年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業報告

月 日	事業内容	開催場所
5月17日(日)	2015年度後援会定期総会 2015年度後援会定期総会事前打合せ	東キャンパス
6月上旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月3日(水) ～8日(月)	イギリスブライトン大学グラデュエイトショー 後援会会長他大学関係者参加	イギリス
6月下旬	後援会より補助金一括交付	
6月20日(土)	第1回役員会(所属委員会決定)	木曽路 名駅店
7月18日(土)	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	
9月30日(火)	後援会報第59号発行	
10月3日(土) ～4日(日)	後援会研修旅行 1泊2日	富岡製糸場
10月24日(土)	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月16日(土)	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	札幌かに本家 金山店
2月20日(土)	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	東キャンパス
3月4日(金)	ブライトン大学賞表彰式	名古屋東急ホテル
3月21日(月)	卒業式参列(会長)	日本特殊陶業 市民会館
3月21日(月)	卒業記念パーティー出席 (会長はじめ役員)	名古屋マリオット アソシアホテル
4月上旬	後援会報第60号発行	
4月1日(金)	入学式参列(2015年度会長)	
4月中旬	2015年度会計監査(2015年度監査2名)	
4月下旬	第6回役員会(定期総会準備他)	
備 考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業、授業料貸付事業等を行いました。	

### 2016年度 名古屋芸術大学・大学院後援会事業計画

月 日	事業内容	開催場所
5月15日(日)	2016年度後援会定期総会 2016年度後援会定期総会事前打合せ	西キャンパス
6月上旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月1日(水) ～7日(火)	イギリスブライトン大学グラデュエイトショー 後援会会長他大学関係者参加	イギリス
6月下旬	後援会より補助金一括交付	
6月18日(土)	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月16日(土)	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	
9月30日(金)	後援会報第61号発行	
10月22日(土) ～23日(日)	後援会研修旅行	
10月29日(土)	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
12月中旬	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月21日(土)	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月18日(土)	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	
3月 卒展開催中	ブライトン大学賞表彰式	
3月20日(月)	卒業式参列	
3月20日(月)	卒業記念パーティー出席 (会長はじめ役員)	
4月上旬	後援会報第62号発行	
4月	入学式参列 (2016年度会長・副会長《総務委員長》)	
4月中旬	2016年度会計監査(2016年度監査2名)	
4月下旬	第6回役員会(定期総会準備他)	
備 考	以上のほかにも、公開講座補助事業、就職活動補助事業、国際交流補助事業等を行う予定です。	

## ■2016年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 役員・委員一覧

通番	役職名	氏名
1	会 長	山田 貢
2	副 会 長 (総務委員長)	余吾めぐみ
3	副 会 長 (事業委員長)	片岡美津枝
4	副 会 長 (広報委員長)	佐藤 耕太
5	副会長(会計)	日比野弘嗣
6	会 計 監 査	水谷美枝子
7	会 計 監 査	吉長 未名
8	書 記	平井 友明
9	書 記	野々山早苗
10	会 計	近藤 結花
11	監 事	飯田 康子

通番	役職名	氏名
12	総務副委員長	廣川 春美
13	総務委員	川野 佳代
14	総務委員	池野 美鈴
15	総務委員	伊藤 文子
16	事業副委員長	種田美保子
17	事業委員	山内 正春
18	広報副委員長	内田由加里
19	広報委員	渡部 朝子
20	広報委員	川瀬めぐみ
21	広報委員	杉田 知美
22	広報委員	三浦真由美



午前中に総会、直木賞作家藤田宜永先生による講演「小説家の愉しみ」を行い、昼食後、大学主催の教育懇談会が行なわれました。

多数の父母の方に参加いただきありがとうございました。



後援会総会 直木賞作家藤田宜永氏講演



後援会総会 山田会長挨拶



後援会総会 陶芸体験

## ■2015年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 決算書

### 1. 一般会計

2015. 4. 1～2016. 3. 31 単位：円

#### 収入の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	2,075,574	2,075,574	0	
会 費 収 入	24,360,000	23,614,000	746,000	
特別会計より繰入	2,000,000	2,000,000	0	学費貸付金口
受 取 利 息	2,000	1,582	418	普通預金
手数料他収入	20,000	120,700	-100,700	事業協賛金
合 計	28,457,574	27,811,856	645,718	

#### 支出の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
通 信 費	350,000	214,638	135,362	私学助成署名運動他
旅 費・交通費	250,000	162,000	88,000	
会 議 費	500,000	408,618	91,382	
事務費・用品費	150,000	24,035	125,965	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	15,000	85,000	
渉 外 費	500,000	372,990	127,010	役員手当て 祝花
事務職員人件費	800,000	824,645	-24,645	
<b>(総務関係合計)</b>	<b>2,650,000</b>	<b>2,021,926</b>	<b>628,074</b>	
芸大祭補助	3,500,000	3,500,000	0	
クラブ補助	7,500,000	7,500,000	0	
就職活動補助	5,500,000	5,373,681	126,319	
卒業生を送る会補助	400,000	400,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	906,844	93,156	
公開講座補助	4,000,000	3,766,526	233,474	
役員研修費補助	800,000	451,247	348,753	
<b>(事業関係合計)</b>	<b>23,300,000</b>	<b>22,498,298</b>	<b>801,702</b>	
広報活動	1,200,000	1,111,536	88,464	広報誌・封筒(大)
広報誌郵送料	500,000	405,540	94,460	
<b>(広報関係合計)</b>	<b>1,700,000</b>	<b>1,517,076</b>	<b>182,924</b>	
定期総会運営費	600,000	363,478	236,522	
予 備 費	207,574	14,040	193,534	奨学金返還請求分 弁護士
次年度繰越	0	1,397,038	-1,397,038	
<b>総 合 計</b>	<b>28,457,574</b>	<b>27,811,856</b>	<b>409,196</b>	

## 2. 特別会計決算書

### (1) 特別積立金会計

#### 収入の部

単位：円

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,500,621	1,500,621	0	
雑 収 入	300	306	-6	
合 計	1,500,921	1,500,927	-6	

#### 支出の部

単位：円

予 算	決 算	差 異	備 考	備 考
特別積立金事業計画	0	0	0	
次年度繰越金	1,500,921	1,500,927	-6	
合 計	1,500,921	1,500,927	-6	

### (2) 学費貸付金会計

#### 収入の部

単位：円

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	11,328,465	11,328,465	0	
一般会計より資金繰入	0	0	0	
特別会計より資金繰入	0	0	0	
学生貸付金返済金	2,800,000	2,204,000	596,000	
雑 収 入	2,000	1,567	433	
合 計	14,130,465	13,534,032	596,433	

#### 支出の部

単位：円

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
学 生 貸 付 金	10,000,000	2,145,000	7,855,000	
一般会計へ資金繰入	2,000,000	2,000,000	0	
予 備 費	2,130,465	10,000	2,120,465	
次年度繰越	0	9,379,032	0	
合 計	14,130,465	13,534,032	596,433	

### (3) 学生生活基金会計

#### 収入の部

単位：円

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	2,133,833	2,133,833	0	
雑 収 入	500	350	150	
合 計	2,134,333	2,134,183	150	

#### 支出の部

単位：円

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
記 念 事 業 等	350,000	0	350,000	
次年度繰越金	1,784,333	2,134,183	-349,850	
合 計	2,134,333	2,134,183	150	

## ■2016年度 名古屋芸術大学・大学院後援会 予算書

### 1. 一般会計

2016. 4. 1～2017. 3. 31 単位：円

#### 収入の部

	2016年度 予 算	2015年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,397,038	2,075,574	-678,536	
会 費 収 入	22,630,000	24,360,000	-1,730,000	4月1日現在 新入生 465人 在学生 1,494人 休学者 31人 大学院生 56人
特別会計より組入	2,500,000	2,000,000	500,000	学費貸付金口
受 取 利 息	2,000	2,000	0	普通預金
手数料他収入	20,000	20,000	0	事業協賛金
<b>合 計</b>	<b>26,549,038</b>	<b>28,457,574</b>	<b>-1,908,536</b>	

#### 支出の部

	2016年度 予 算	2015年度 予 算	差 異	備 考
通 信 費	250,000	350,000	-100,000	
旅 費・交 通 費	200,000	250,000	-50,000	
会 議 費	450,000	500,000	-50,000	
事 務 費・用 品 費	50,000	150,000	-100,000	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	400,000	500,000	-100,000	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	850,000	800,000	50,000	担当派遣職員
<b>(総務関係合計)</b>	<b>2,300,000</b>	<b>2,650,000</b>	<b>-350,000</b>	
芸 大 祭 補 助	3,000,000	3,500,000	-500,000	
ク ラ ブ 補 助	7,000,000	7,500,000	-500,000	
就 職 活 動 補 助	5,500,000	5,500,000	0	
卒業生を送る補助会	400,000	400,000	0	各学部10万円とする
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国 際 交 流 補 助	1,400,000	1,000,000	400,000	ブライトン記念事業 を含む
公開講座補助	3,600,000	4,000,000	-400,000	
役員研修費補助	500,000	800,000	-300,000	
<b>(事業関係合計)</b>	<b>22,000,000</b>	<b>23,300,000</b>	<b>-1,300,000</b>	
広 報 活 動	1,200,000	1,200,000	0	広報誌・封筒(大・小)
広報誌郵送料	500,000	500,000	0	
<b>(広報関係合計)</b>	<b>1,700,000</b>	<b>1,700,000</b>	<b>0</b>	
定期総会運営費	500,000	600,000	-100,000	イベント費用、 保護者昼食費用等
予 備 費	49,038	207,574	-158,536	
<b>総 合 計</b>	<b>26,549,038</b>	<b>28,457,574</b>	<b>-1,908,536</b>	



## 2. 特別会計予算書

### (1) 特別積立金会計

#### 収入の部

単位：円

科 目	2016年度 予算	2015年度 予算	差 異	備 考
前年度繰越金	1,500,927	1,500,621	306	
雑 収 入	300	300	0	
合 計	1,501,227	1,500,921	306	

#### 支出の部

単位：円

科 目	2016年度 予算	2015年度 予算	差 異	備 考
特別積立金事業計画	0	0	0	
事業計画積立金	0	0	0	
次年度繰越金	1,501,227	1,500,921	306	
合 計	1,501,227	1,500,921	306	

### (2) 学費貸付金会計

#### 収入の部

単位：円

科 目	2016年度 予算	2015年度 予算	差 異	備 考
前年度繰越金	9,379,032	11,328,465	-1,949,433	
一般会計より資金繰入	0	0	0	
特別会計より資金繰入	0	0	0	
学生貸付金返済金	2,500,000	2,800,000	-300,000	
雑 収 入	1,500	2,000	-500	
合 計	11,880,532	14,130,465	-2,249,933	

#### 支出の部

単位：円

科 目	2016年度 予算	2015年度 予算	差 異	備 考
学 生 貸 付 金	0	10,000,000	-10,000,000	
一般会計へ資金繰入	2,500,000	2,000,000	500,000	
予 備 費	0	2,130,465	-2,130,465	
次年度繰越金	9,380,532	0	9,380,532	
合 計	11,880,532	14,130,465	-2,249,933	

### (3) 学生生活基金会計

#### 収入の部

単位：円

科 目	2016年度 予算	2015年度 予算	差 異	備 考
前年度繰越金	2,134,183	2,133,833	350	
雑 収 入	350	500	-150	
合 計	2,134,533	2,134,333	200	

#### 支出の部

単位：円

科 目	2016年度 予算	2015年度 予算	差 異	備 考
記 念 事 業 等	0	350,000	-350,000	
次年度繰越金	2,134,533	1,784,333	350,200	
合 計	2,134,533	2,134,333	200	

## 名古屋芸術大学近況報告

### 音楽学部

#### 《演奏学科》

##### 声楽コース

声楽コースでは今年度から5年間に亘って、名古屋市西区文化小劇場とタイアップしてオペラ公演を行っていくことになりました。これは大学の地域貢献事業として文科省も推進する事業でもあります。声楽コースではかねてより北名古屋市の中学校でオペラの音楽鑑賞教室を行ってきました。それはオペラを見たことのない中学生にとってはまたとない経験であったと思います。また逆に学生にとっても中学生の前で自分たちの勉強の過程を見てもらえるいい機会でもありました。

これからは一段とレベルアップし、名古屋市民、卒業生も交えて一緒にオペラ公演を行っていくという大きな企画に参加します。公演形態は、主に学生主体による公演と卒業生を主体にした公演になります。その中に主に合唱で名古屋市民が参加をします。練習は卒業生も交えることもあり活躍中の卒業生の歌を聞きながら歌を学ぶいい機会となります。

今年度はモーツァルトの「魔笛」を行います。その演出には今度初めて映像を使い、また衣装も日本のヤマトタケル時代を髣髴とさせる等、新しい斬新な手法で臨みます。名古屋芸大と名古屋市西区小劇場が放つニューオペラとして脚光を浴びると期待しています。どうぞ皆様もご期待下さい。公演は2017年2月25, 26日公演です。

声楽コース 教授 澤脇達晴

##### ピアノコース

日頃はピアノコースへのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

まず4月29日には、姉妹校でありますパリ・エコール・ノルマル音楽院副校長で作曲家でいらっしゃるルイ・マンサール先生の公開講座が開催されました。

第一部はドビュッシーの前奏曲について。本学ピアノコースの井上優さん(3年生)、小林碧葉さん(4年生)、中島舞さん(4年生)が前奏曲を1曲ずつ演奏し、マンサール先生が的を得た言葉でイメージを膨らませてくださいました。通訳は中沖玲子氏。

第二部では交歓演奏会として、共にエコール・ノルマル音楽院ディプロマを取得した井上優さんと中島舞さんが、それぞれ得意な曲を披露しました。また、本学教員田中範康氏の作品を、竹内雅一氏と山本多恵佳氏が演奏しました。

そして7月14日には、先のオーディションで選ばれた4人の学生が、しらかわホールでピアノコンチェルトを熱演しました。モーツァルトK.488の第1楽章は2

年生の川松佳菜さん、第2・第3楽章も2年生の黒木七聖君。グリーグのコンチェルトは第1楽章土屋宗太君。第2・第3楽章は3年生の井上優さんが演奏し、満員の観客より暖かい拍手が送られました。

また、実技試験すぐ後の8月9日には、成績上位の学生が3号館ホールにて、サマーコンサートに出演しました。猛暑の中、聴きにいらした方たちは、熱心にその演奏に耳を傾けていらっしゃいました。

その他ピアノコースでは、6月と7月に本学客員教授でいらっしゃる近藤嘉宏先生の特別レッスンを行いました。

この冬11月と12月にも、公開講座を予定しています。どうぞご期待ください。

ピアノコース 教授 菅原美枝子

##### 電子オルガンコース

日頃からの温かくも厚いご支援に感謝しております。

電子オルガンコースは、昨今の厳しい学生募集状況の中で専科新入生1名と研究生1名を確保し、昨年度の10余名の卒業生を輩出した後で人数の減少こそあれ、少数精鋭よろしく活動し、何とか前期を終えました。少数精鋭と申し上げましたのも「苦し紛れ」などではなく、全く文字通りの意味でございます。専科の新入生は性格も腕も良く、入ってきて早々から先輩らに可愛がられ、多々有る電子の恒例行事にも積極的に関わってくれて、しかも存分に腕をふるってもらい、本学の評判を守ってくれております。勿論、新入生のみならず「先輩ら」も人柄、腕、共に優秀な人材に恵まれて、コースのレベルを高いものに保ってくれております。

恒例行事についてのご報告です。

学内…まずは6月のオープンキャンパスでの活動ですが、申し上げた通り腕の良い学生らは澆刺と『プチコンサート』において輝きを放ってくれました。このごろはそういう場における司会進行も学生に委ねておりますが、その日のコンサートにおいても大変良くやってもらいました。夏のワークショップにつきましては開催か否かを悩みました。恥ずかしながら経費の問題も大きかったのですが、財団ヤマハ…いつも厚いご協力を賜っております…の電子楽器教育研究会から『守屋純子/Jazzアレンジ講座』を無償でして下さるとの援助もあり、スペシャル・ライブは不肖・私、鷹野雅史がやらせていただく等、何とか形を保ち、恒例を崩さず開催させて頂きました。

学外…尾張一宮の七夕祭りに今年も呼んでいただき、有志学生らが、今年は本学の他コースの学生らとのコラボを含め、演奏を披露し好評を得ました。6月12日は

栄の中電ホールでの名古屋演奏家ソサエティーのメモリアル・コンサートで、同ソサエティーの依頼を受け3年の岡田京子、長谷川歩美が私と共にオペラやピアノ協奏曲のオーケストラパートを演奏。そして新たな場と致しまして、名古屋文理大フォーラム（稲沢市民会館）において、名古屋音大さんとのコラボ・コンサートを、稲沢市の文化的公共事業の一環としてさせて頂きました。両学の学生がお互いの大学を訪れあいながら練習をした合同企画の出し物もございましたが、基本的には前半は名音、後半は我々が名芸というプログラム構成で、同会館中ホールで開催しました。身びいきも大いにごさいます。名音さんと比べても名芸の学生らは見劣りすることが無いばかりか、レヴェルにおいてさえ大いに面目をほどこしていたように見え見えました。この催しは『どらおるがん』と名づけられ、名芸チームのまとめと当日司会は2016年度卒業生の望月茜、在学生側は3年の松下裕也、合同企画の音楽を4年の大橋遥がそれぞれ担当して立派にやり遂げてくれました。

9月24日にはまたオープンキャンパスがあり、10月16日の日曜日には、伏見のヤマハからも演奏依頼がすでにきており、学生らは期待に添えてくれるものと信じて疑っておりません。今年のコース定期演奏会『アースエコー2016』は12月8日（木）、いつもの熱田文化小劇場で開催致します。オーディションも終え出演者も決まり、準備は進んでおります。是非、自慢の学生らの雄姿を観にいらして下さい。

電子オルガンコース 准教授 鷹野雅史

### 弦管打コース

今年度の前期に公開講座が1つ行われました。6月15日（水）ヴィオラ奏者、指揮者であるヤン・ベラント氏による「チェコの音楽史」です。とても興味深い話を聞く事ができました。

さて、いよいよ後期の授業が始まりますが、9月と11月にウインドオーケストラ・オーケストラ共に定期演奏会を開催します。

9月23日（金）愛知県芸術劇場コンサートホールにて、ウインドオーケストラ第35回定期演奏会を行います。いつもの年ですとCD制作のための録音曲とプログラムが重なりますが、今年度は録音を行わないため、コンサートのためだけのプログラムとなりました。とてもバラエティーに富んだ選曲となっております。11月25日（金）には愛知県芸術劇場コンサートホールにて、オーケストラ第34回定期演奏会が行われます。今年のメインは本学オーケストラにとって初めてとなるブルックナーの交響曲第5番です。また本学教授竹内雅一氏をソリストに迎え、ウェーバーのコンチェルティーノも演奏します。両演奏会共、是非足をお運び下さる様、宜しくお願い申し上げます。

また一昨年大変好評であった、ミュージカルとウインドオーケストラのコラボ企画「あいちトリエンナーレ2016」が10月2日（日）に愛知県芸術劇場大ホールで行

われます。中々他では見る事の出来ないスケールの大きいステージなので、こちらもおねえお願い致します。そのほか「室内楽のタベ」等、秋のシーズンは演奏会が目白押しです。大学のホームページもしくは本学演奏課に御確認の上、お越し下さい。

弦管打コース 准教授 依田嘉明

## 《音楽文化創造学科》

### 音楽教育コース

本コースには中学・高校の教員を目指す学生が多くいますが、4年生は6月に3週間、教育実習に出かけました。その実習の報告会を7月末に行いました。研究授業や道徳の授業の話、楽しかったこと、失敗したことなど、4年生のさまざまな体験談に、皆、真剣に耳を傾けていました。

3年生は、「音教ゼミ」において、中学校の共通歌唱教材7曲（《花》、《荒城の月》、《早春賦》、《花の街》、《夏の思い出》、《浜辺の歌》、《赤とんぼ》、）に関して、各曲の誕生秘話、作曲家や作詞家のこと、曲の特徴などについて研究中です。

8月1日には、1年生を対象にフレッシュマンセミナーを実施しました。今年は、琵琶湖の北部に位置する竹生島を訪れました。ここには西国巡礼三十三所第三十番札所「宝厳寺」があり、それ故にこの島は、古来から人々の厚い信仰を集めてきました。また、この島は音楽、特に邦楽の世界との関わりが深く、能の演目《竹生島》や平曲《竹生島詣》をはじめ、近世邦楽の楽曲でも多くとりあげられています。学生たちは、島の歴史及び邦楽の歴史に親しみ、充実した一日を過ごしました。

机上の学習と実践的な学習をバランス良く組み合わせながら、いろいろな音楽文化に触れる機会をより多く持ちたいと考えています。

音楽教育コース 教授 金子敦子

### 作曲コース

作曲コースでは、作品を作る上でかかせないアカデミックな作曲理論と、それに裏打ちされた実際の作品作りを中心に学習していきます。学生が作曲した作品は、学内で開催される様々な演奏会に出品し、自分の作品が、実際の演奏を通じて、どのような音楽になるのかを体験することができます。

本コースの慣例行事となりました、3月に実施されます「作曲コース試演会」では、今回も、個性の異なる様々な作品が、学内外の演奏者により演奏され、学生にとってはこれも貴重な体験となりました。

以上のように、本学の作曲コースでは、作品の演奏されるチャンスが与えられることで、机上で仕上げた譜面が実際の音になった時、イメージどうりであるかどうか、また思ったような作品に仕上がっていない場合には、演奏者の立場でのアドバイスを直接受けることもできます。そして、それらを参考にし、次の作品に生かして

ステップアップすることができます。

このように本コースでは、各学生の音楽的スキルを高めるために、実践的な教育を中心に、恵まれた環境で学んでいます。

作曲コース 教授 田中範康

## サウンドメディアコース



本コースは、音楽制作・録音・音響を学びながら、新しい時代の音楽とテクノロジーと芸術の関わりについて考え、作品制作に取り組んでいます。前期は通常の授業に加え、以下の特別講義・公開講座を行いました。

4月21日、株式会社カプコン プロダクション部サウンド開発室室長の岸智也氏をお招きし、「ゲームのサウンドデザインと音楽制作について」の特別講義を行いました。ゲームの中で音や音楽が果たす役割、効果などについてをレクチャー頂きながら、氏が実際に携わったゲームの映像や収録したセッションデータを見ながら1つのゲームサウンドがどのように構築されているかをお教え頂きました。



5月26日、世界的に活躍されているリコーダー奏者鈴木俊哉氏、アコーディオン奏者大田智美氏をお招き



し、公開講座「リコーダーとアコーディオンの可能性を探る」を行いました。

それぞれの楽器の歴史や構造についてレクチャー頂きながら、実際にそれらの楽曲に接することができました。また、リコーダーワークショップでは、各学生が持参したリコーダーで、実際に音を出しながら代表的な現代奏法をお教え頂きました。また、アコーディオンワークショップでも普段なかなか聴くことのできないアコーディオンの特殊奏法・記譜法についてお話ししました。

6月9日、ヒビノ株式会社より小野良行氏を招き、特別講義「コンサート音響業界の現状と求められるPAについて」を行いました。

約30年にわたり国内外のさまざまなアーティストのライブコンサートのPAを担当されてきた小野氏より、コンサートにおけるPAの役割や在り方や実態についてお教え頂きました。講義では、定在波など実際のコンサート空間でおこる“音のふるまい”についての実際も行い、学生自身の耳でそれらを体感することができました。



7月2日・3日、名古屋芸術大学・碧南市芸術文化ホール共催「トーンマイスターワークショップ2016」を開催いたしました。本コースでは、2007年よりこれまで4回にわたり、ドイツからクラシック音楽録音のスペシャリストである、トーンマイスターを招き、本来ベールにつつまれていることがほとんどである音楽の録音の実際についてを学ぶワークショップを行ってきました。5回目となる今回も、ベルリンよりエバハート・ヒンツ氏を特別客員教授として招聘し、素晴らしいアコースティックを持つ碧南エメラルドホールにて、「ピアノのセッション録音」をテーマとして開催させていただきました。



これらのコースの活動については、本コースのwebサイトで詳細を掲載させていただきます。ぜひご覧ください。

<http://soundmedia.jp>



また、本コースでは来る2017年2月18日(土)、サウンドメディアコース学生が、現代におけるアートのあらゆる可能性を探求し、音楽作品を制作しながら、映像や照明の演出表現を加え、アートと音楽の有機的結合をめざすコンサート、「カレイド・スコープ」を本学2号館大アンサンブル室で行います。ご支援のほどよろしくお願いたします。

サウンドメディアコース 准教授 長江和哉

### 音楽ケアデザイン、音楽療法コース

2016年度、音楽ケアデザインコースとして新たに一年生を迎えました。これまでと同様、医療や福祉現場で活躍する音楽療法士の育成に力を注ぎながら、地域、共同体での音楽を使用したつながりや場の創出にも学生とともに取り組んでいきたいと考えています。

5月29日(日)には、名古屋市重症心身障害児者施設「ティンクルなごや」さん春祭りのエンディング演奏に参加しました。学生メンバーのほとんどが、まだ入学間もない1年生であったため、練習、準備期間もあまり取れない状況でしたが、当の一年生は最初から前向きで、緊張もあったでしょうがステージを楽しんでいました。今後の成長が非常に楽しみです。



7月21日は、学生、卒業生、教員の混合グループでむつみ福祉会さん主催の音楽会に呼んでいただきました。トーンチャイム演奏や、ポップス、アニメ主題歌など、1時間ほどのプログラム内容を3年生中心に考えま



した。AKB48ならぬNUA48(学生)も、しっかり披露するためのダンスの準備をしておいたのですが、本番は会場の皆さんも前に出てきて一緒にダンス。垣根を超えた活動は、学生たちにとっても非常にいい経験になっていると感じます。

上記のような活動に加えて、3、4年生はこれまでと同様、児童・成人・高齢施設で音楽療法を定期的に行っています。現場での様々な出来事、その後の学内カンファレンスでの経験で学生たちは日々成長しています。教員としても、ふとした変化や発言に驚き、関心させられることが多々あります。これからもこのような定期的な活動を大切にしつつ、新たな音楽ケア、音楽療法の可能性を探求していく所存です。

音楽ケアデザイン、音楽療法コース 准教授 伊藤孝子

### ミュージカルコース

今年のミュージカル公演は、ショービジネスの街に舞い降りた“魔女”たち、元ショーガールだった三人の魔女たちのステージへの想いを描いたダンスミュージカル“GIRLS”を上演させていただきました。

ジャズダンス、タップダンス、ラテン、タンゴなど様々なダンスシーンが交錯するこのミュージカルで、キャストたちはアートピアホールのステージを華やかに飾り立てました。

高山市との提携公演である8回目の「飛騨・童話会議」では、“Fairly Tales”という童話の主人公たちが勢揃いするオリジナルミュージカルを上演させていただきました。今年は高山市だけでなく、国府、岐南町などでもミュージカルコンサートが開催され、「飛騨・童話会議」は更なる広がりを見せた年でもありました。

「新年はベストテン・コンサートから」。北名古屋の皆さんから応援を頂いている“ベストテン・コンサート”も高山、一宮、津島などでの公演が予定されています。

例年との大きな違いは、ミュージカルの全ての公演にエンターテインメントディレクションコースの学生たちが参加していることです。演出、照明、音響、映像、舞台進行などの面で想像を超えた力を発揮してくれ、更に良質なステージを作り上げることが出来ました。

そして、この10月2日には、愛知県芸術劇場大ホールで、「あいちトリエンナーレ2016」の一環として“ショービジネスに乾杯!”というミュージカルショーが

上演されます。この公演はミュージカル、エンターテインメントディレクションに加え、弦管打、ジャズポップスの各コースによるコラボレーションで、「芸術劇場大ホールをブロードウェイにしよう!」という壮大な企画です。お時間のある方は、是非、足をお運び下さい。

ミュージカルコース 教授 森泉博行

## アートマネジメントコース

2012年4月、旧ビジネスコースは「アートマネジメントコース」へと名称を変更し、同時にカリキュラムを一新し、今年の3月にアートマネジメントコースとして初めての卒業生を送り出しました。さて今年度の4年生も卒業生たちに劣らず元気に卒業制作に取り組んでいます。昨年度は、名古屋音楽学校で手作り楽器の面白演奏で知られる「Kajji」さんによる子供対象の演奏会を企画しましたが、今年、学生たちはライブ演奏の企画を提案してきました。アマチュアを含む5つのロックグループに出演を依頼して演奏会を行うというものです。3年の段階から構想を練り始め、この4月から具体的な準備に入る事になりました。すでに公報のためのチラシづくりを完成させ、またこれからは様々な演奏会場や人の集まるロビーに置いてもらうためのフライヤーを作成します。完成次第、その発送作業が夏休み明けから始まります。学生たちはリーダーの指示のもと、決められたそれぞれの仕事をこなしています。またすべての仕事の記録を残すことも忘れていません。卒業制作とは、卒業論文の授業でもあるからです。11月4日のライブ演奏は、終わりではなく論文作成のスタートとなります。提出の締切は来年1月の授業開始日の12時です。

さて、2年生も頑張っています。宗次ホールから参加を依頼されたプレゼンのコンペティションに向けて毎日学習を続けています。これは、「音楽ホールマーケティング」に関するお題をもらい、一つはマイナーなクラシック音楽のコンサートで宗次ホールにはなぜ人がたくさん集まるのかについて検証し、そしてさらにこれからも多くのお客さんに宗次ホールに足を運んで貰うための戦略を提案するというものです。学生たちの柔らかく新鮮なものの見方がホール運営にも欠かせません。8月31日に、愛知大学や南山大学や愛知県芸術大学の学生たちとともにプレゼンを行います。賞金も頂けるようですので、その意味でも学生たちのみならず指導する先生も力が入ります。いずれにしても、この夏、学生たちは熱く燃えています。

アートマネジメントコース 教授 山田 純

## ジャズ・ポップスコース

ジャズ&ポップスコースは大学の改革・改編に伴い、2017年度から「ポップス・ロック&パフォーマンスコース」となります。若者たちの生活に入り込んでいる音楽(ポップス・ロック・ジャズ)を専門的に学ぶことができ、東海地区の音楽大学で初めて設立されます。

2016年6月30日、本学東キャンパス2号館の大アンサンブル室で、特別客員教授の野々田万照氏によるジャ

ズ&ポップスコース公開講座が行われました。この公開講座は、マルチエンターテナー(サクソ奏者、歌手、作・編曲家、マジシャン、MC、音楽・イベントプロデューサー etc.)である野々田万照氏のサクソ演奏と歌やトークを織り交ぜた内容の特別講座で、本年度は後期にも行われる予定となっています。

今年度からジャズ&ポップスコースの専任教員として、上田浩司教授が就任し、学生が新しい時代に必要なスキルを身につけ将来へとつなぐことを目指した、ポップス・ロック&パフォーマンスコースの取り組みを行います。

上田教授はバークリー音楽大学パフォーマンス・ギター専攻卒業(B.M.)、ノーステキサス大学大学院パフォーマンス・ギター専攻修士課程修了(M.M.)、アメリカン音楽大学大学院パフォーマンス・ギター専攻博士課程修了(D.M.A.)で、ギター演奏に加え音楽に関する英語教育の研究として、2007年『使える!音楽英会話』(共著)ヤマハミュージックメディア、2016年『すぐに役立つポップス英会話』(共著)スタイルノートの著作があり、幅広い教育に期待をしています。

ジャズ・ポップスコース 教授 竹本義明

## エンターテインメントディレクションコース

2年目に入ったでは、1年間の集大成として、北名古屋市の西春文化勤労会館で“1st.Performance”を行いました。

コンサート、ミュージカル、演劇の4作品を、企画、演出、脚本作成、音楽構成、照明、衣装、音響、舞台進行の全てをエンターテインメントディレクションコースの学生たちが担当し、2時間のオムニバス・ステージを創り上げました。このコースは理論と実践をいかに組み合わせるのが重要です。教室で学べないことを劇場やホールで学び、そこで学んだことを再び教室で確認する、この繰り返しを続けて行くことが必要です。

まだまだ学ばなければならないところは多々ありましたが、若者たちの鋭い視線と勢いの溢れたステージを出現させることが出来ました。

4月には2期生(26名)が入学し、コース全体が更なる活気に溢れるようになりました。1期生はコンサート関係の照明と音響を志望する学生が多いのですが、2期生はミュージカル、演劇を志望する学生もおり、志望の幅が広がりつつあるのが特徴となっています。

今年度は、1、2年生ともに、ミュージカルやオペラ公演、各種演奏会にスタッフとして参加しており、連日、学年の壁を越えて、熱いスタッフ会議を開いて議論を積み重ねています。

学生たちの「やる気」が、コースの個性、スタイル、方向性をよりメジャーなものへと向かわせている実感を感じます。「新しい、魅力溢れる音楽の世界を創り出そう」、そんな意気込みに溢れたコースに育ち上がろうとしています。

エンターテインメントディレクションコース

教授 森泉博行

## 《演奏学科・音楽文化創造学科》

### 音楽総合コース

総合コース運営委員会々長として、近況のご報告を申し上げます。

本学の大きな特徴、目玉と申しても良い総合コースは前期もそれぞれの学生らが各々の専門において学習に励んで来ております。その一方で、様々な事由における休・退学が目立ってきておりますことを残念ながらご報告せざるを得ません。先に述べた委員長責任におきまして、その当該学生らのひとりひとりと面談をおこなっております。「経済的に厳しい」、「芸能界に片足を突っ込んでいるが、そちらの活動に専念したい」、実に理由は様々であります。「授業・レッスンについていけない(特定の授業・レッスンに多数の離脱者がいるなどの問題の報告は今のところ、幸いにも、ございません)」、「人の中に出るのは怖い」…昨今の、いえ、昨今に限らないかもしれませんが、若者らに時々みられるメンタル系の理由もございましたが、いずれに致しましても由々しき事態に運営委員会のみならず、全学的に学生らへのフォローのより良い形を目指していきたい所存です。

ご報告ということなので、敢えてネガティブなお話もさせて頂き恐縮です。しかしながら、大半の学生らにおきましては、総合コース面談で彼ら彼女らから得られる

コメントによれば、順調にこのコースのアドヴァンテージを活かしてもらっているようで、やはり名芸の「名物？」として総合コースは十分に立ち行くという実感も豊富に得ております。自分の専門外の楽器の実技レッスンを受け続けたい為とか、この勉強も続けたいが転科すると授業が取れなくなるから、という理由で、3年になっても敢えて総合コースに居続けたいと言う「積極的・総合コース選択派？」が多数居るのは何とも嬉しい限りです。

皆様もご存知の通り、本学は「ボーダーレス」をキーワードに大きな学部改変が行われんとしております。そのような学内の、いえ、社会からのと申し上げて良いかも知れませんが古屋芸術大学の新しい形において、総合コースが持つ意味、そして位置づけにも新たな光が当てられて、大きな希望や歓びに繋がりをものになっていくでしょう。また、なっていくかねばなりません。総合コースには専任の教員がおりませんが、それは本来的に、音楽学部全体がケアしていくべきコースであり、音楽学部がひとつになれるコースであります。教員もひとつになり、この総合コースという本学独自の「財産」の、質と価値の向上に努めて参りますので、後援会の皆様様の変わらぬご理解とご厚意を引き続き賜れば、幸いの極みと存じます。

音楽総合コース 准教授 鷹野雅史

## 大学へのお問合せ先一覧

内 容	担当部署	電話番号	
学納金(学費)について	庶務会計課	東キャンパス (音楽学部・人間発達学部) 0568-24-0315 (代)	
成績について 証明書発行について	教務課		
休学・退学について 課外活動・大学祭等について 住所変更等について 就職について 資格取得講座について アルバイトについて その他学生生活全般について	学生支援課		
本学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課		
教員免許・学芸員資格について	教職センター(実習指導室)		
交換留学について	国際交流センター(学生支援課)		
生涯学習講座について	生涯学習センター(学院広報室)		0568-24-0359 (直通)
音楽学部主催の演奏会等について	演奏課		東キャンパス 0568-24-5141 (直通)
アート&デザインセンターで開催 する展覧会について	アート&デザインセンター		西キャンパス 0568-24-0325 (代表)
後援会について	事務局(事務部長)		東キャンパス 0568-24-0315 (代表)

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお応えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報に含まれる内容に関しては、ご子女の「学籍番号」の確認、本人の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお応えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問合せに応じることができませんので悪しからずご承知おきください。

なお、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の手続きが行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。

# 美術学部

## 出前サポート事業の報告

美術学部では、2014年度より独自に高大連携「出前サポート事業」を実施してきました。小中高の美術教科の時間数減に伴い美術科専任教諭を置く高校が減少し、美術科以外の教科を教える教諭が美術部顧問を担当する高校が増えている現状の中、どのように指導すればよいか途方にくれる先生方の力になればと始めた事業です。

その特別編として、今年度前期に二度の高校生向けワークショップを実施しました。

一つは高校生と大学生の作品を一堂に会する展覧会「高校生のチカラ～芸術への招待～」(5月6日～11日)です。昨年度まで「美術学部コース展」としてアート&デザインセンターで開催してきた枠を改めたものです。参加校は尾張地区に絞り呼びかけ、木曽川高校、稲沢東高校、修文女子高校の美術部員の作品と美術学部学生の作品の饗宴が実現しました。

高校生たちは搬入出にも関わり、大学生と教員から展示の仕方を伝授され、また会期中に阿部大介氏を講師に迎え「名古屋芸大をはがす」という剥がし刷りのワーク

ショップに高大生が相見え時間を忘れて芸大を剥がしました。

もう一つは、姉妹校のイギリスのブライトン大学とタイのキングモンクット工科大学と本学の版画コースの学生、教員、卒業生25点ずつ75点の50×50cmの版画を展示する交流展「版の方法論50×50=75」(7月15日～27日)期間中に、高校生対象に実施した紙すきと多色摺りトグラフのワークショップです。

こちらは一宮北、稲沢東、名古屋市立工芸、日本福祉大学付属、佐屋の5校の美術部員と顧問の先生方が参加し、暑い最中の二日間のワークショップはとても充実した内容となりました。

結果的にはこれらのワークショップに参加した生徒たちの本気に火がつき、3名の生徒が本学美術領域・デザイン領域への進学を決めることになりました。

美術学部はこれからも中・高・大連携にチカラを入れ、美術環境を手厚く整えていく所存です。

美術学部長 教授 西村正幸



「高校生のチカラ展」を鑑賞する高・大生



「版の方法論 50×50=75展」を鑑賞する高校生



「名古屋芸大をはがす」の説明を聞く高・大生



# デザイン学部

2017年度より音楽学部、美術学部、デザイン学部の3学部が芸術学部となります。デザイン学部は2002年度に開設され14年間、全国でも数少ないデザイン学部として専門性の高い学生を輩出してまいりましたが、芸術学部芸術学科デザイン領域となってスタートいたします。時代の次の波に乗り、新しい「名芸のデザイン」の創設となるよう教員一同教育研究活動の充実を学内外で活発に進めて参ります。

2016年度のスタートは4月1日入学式で191名の新入生を迎えました。2年生185名、3年生189名、4年生176名と4学年を合わせると今期デザイン学部学生741名が在籍し、少子化と言われる中、デザイン学部は学生数が増加傾向にあり、学生にとって4年間を過ごす貴重な学びの場所として、より活気ある環境作りを目指しております。

新規専任教員としてビジュアルデザインコースに則武輝彦准教授を迎えました。

則武先生は名古屋で大変活躍されているグラフィックデザイナーで、地元での就職を希望する学生が多い本コースにとって、名古屋の企業に貢献できる先進的なデザイナーの育成を目指した指導が期待されています。

来年度より新規コースとして設置される文芸・ライティングコースの募集が始まりました。名古屋芸大に新しい分野のコースとして期待されています。文学、戯曲の第一線で実践活動をしている教授陣が、一人一人の学生の個性に合わせて小説(ライトノベル等)、演劇(戯曲)、映画(シナリオ)、キャッチコピー、広告、絵本(児童文学)、マンガ原作、ゲームの世界観やシナリオ、編集者など、様々な分野で文章のプロとして活躍できる学生を育成することを目的としております。個人指導を中心

とした教育プログラムで芸術のプロを育ててきた名芸でこそできる新しいタイプの文系コースです。またデザイン領域にあることで、書き上げた作品を編集して、本や雑誌を作ったりと他領域やコースとの連携や科目履修も可能で広い視点で文章を生かす総合力を養います。4年間で身に着く文章力と表現力は、作家活動や出版業界・広告業界などで、最強の武器となります。戯曲作家である北村想氏を特別客員教授としてお迎えし、名古屋で初めての芸術系大学のライティングコースとして文系学生、高校演劇部などへ広報活動を進めています。オープンキャンパスではCMフィルムを見て、ミニ講義を受講した上でキャッチコピーを制作する「キャッチコピーワークショップ」が行われました。

昨年引き続き官学連携活動として北名古屋市×名古屋芸大市制10周年記念連携事業として今年度は、原付バイクのナンバープレートコンペが実施されました。

一次選考は6月21日に西キャンパスB大講義室で1～4年生33名の学生たちがデザイン案のプレゼンテーションを行いました。

この様子は中日新聞に特色ある授業として紹介されました。課題

Literature & Writing Design

名古屋芸術大学 デザイン領域  
文芸・ライティングコース



オープンキャンパス(2日間)

文芸・ライティングワークショップ 7月17日(日) 8月26日(土)  
(西キャンパスデザイン棟) 10月30日(日)

入試情報(デザイン領域)

- AO入試試験
- 推薦入試 7月23日(土) 又は 30日(土)  
在学生説明会と同時 8月27日(土)
- 前期入試 10月15日
- 後期入試試験
- 11月6日(日)
- 12月1日(土)
- 12月3日(土)
- 12月17日(土)
- 12月19日(土)
- 12月17日(土)
- 4日短大入試 第一方式 第二方式
- 2月5日(日) 2月6日(月)
- 大学入試センター利用入試試験(前期) センター試験のみ
- 8日短大入試 第一方式 第二方式
- 3月24日(日)
- 大学入試センター利用入試試験(後期) センター試験のみ



特別客員教授  
北村 想

文芸・ライティングコース 文芸・ライティングコース 文芸・ライティングコース



専任教員  
則武 輝彦

文芸・ライティングコース 文芸・ライティングコース 文芸・ライティングコース



専任教員  
山田 洋子

文芸・ライティングコース 文芸・ライティングコース 文芸・ライティングコース

名古屋芸術大学 デザイン領域  
文芸・ライティングコース  
<http://www.nuk.ac.jp>  
〒461-8535  
名古屋市中区西春日 6-5  
名古屋芸術大学 西キャンパス3F  
学生相談センターから受付可  
〒461-8535 (西春日) (西春日)  
TEL 0566-24-0225 (内線)  
FAX 0566-24-0226  
e-mail info@nuk.ac.jp

文章で、人の心を包みます。  
文章で、人の心を読みます。  
文章は、あなたの武器です。  
さあ、言葉を一生涯の仕事にしましょう。

① 文芸・ライティングコースの概要  
文芸・ライティングコースは、文学・言語学・コミュニケーション学・デザイン学等の学際的な連携により、文章の創作・読解・批評・表現の力を高め、文章の力を武器として、社会で活躍できる人材を育成します。

② 文芸・ライティングコースの特色  
文芸・ライティングコースは、文学・言語学・コミュニケーション学・デザイン学等の学際的な連携により、文章の創作・読解・批評・表現の力を高め、文章の力を武器として、社会で活躍できる人材を育成します。

③ 文芸・ライティングコースの教育目標  
文芸・ライティングコースは、文学・言語学・コミュニケーション学・デザイン学等の学際的な連携により、文章の創作・読解・批評・表現の力を高め、文章の力を武器として、社会で活躍できる人材を育成します。

④ 文芸・ライティングコースの履修科目  
文芸・ライティングコースは、文学・言語学・コミュニケーション学・デザイン学等の学際的な連携により、文章の創作・読解・批評・表現の力を高め、文章の力を武器として、社会で活躍できる人材を育成します。

その他の専門科目は  
他学部、他領域の履修科目(29科目)58単位の中から選択可です。  
(予定)


「映像とメディア」	「写真実習」	「写真論」	「デザインプロセス」	「デジタルサウンド」	「音楽概説」
「映像実習」	「映像論」	「デザインと文化」	「広告表現論」	「デザインキャラクター」	「書籍論」
「エルゴノミクス論」	「コミュニケーション論」	「考古学」	「国文文化論」	「社会表現論」	「舞台芸術論」
「応用言語学」	「現代デザイン論」	「ジェンダー論」	「エスノグラフィ」	「演劇研究」	「書文化論」
					「デザインと情報論」
					「情報実習」

4 それから…

3 急

2 破

1 序



に追われながらも、社会へ目を向け積極性を持ち実践的な取り組みとして学内コンペプロジェクトを実施しています。3つの



案が最終審査に進み、7月27日に北名古屋市役所で市職員の審査員の方々にプレゼンテーションしビジュアルデザインコースの3名のグループが制作した北名古屋市の木(木犀)と市の花(ツツジ)を使ってオリジナルキャラクター(キツ)を制作し、芸術の町を表現したデザインとなっています。12月に公開されご当地ナンバープレートとして街のあちこちでご覧いただけることでしょう。

前号でお知らせしました「落合先生の引き出し」展—ビジュアルデザインからおもちゃまでが、6月10日(金)~6月15日(水)アート&デザインセンターで開催されました。

落合先生が30年にわたり制作されたグラフィックデザインワークと膨大なおもちゃのコレクションの一部が



展示されました。先生が指導された多くの卒業生が来場され先生の仕事をまとめて見ることが出来、改めて名芸でのご活躍を偲ばれる機会となりました。

各コースの教育活動も例年に引き続き活発でメディアに紹介される機会も多くありました。メディアコミュニケーションコースが、NPO高齢者住まいの研究会受託研究「子供のための防災体験会用ゲームのデザインと制作」で制作した参加型コミュニケーション啓発ゲーム「防災ピンゴ」「防災すごろく」「防災ビジュアル絵本」4冊が中日新聞3月8日付尾張版、3月28日付総合版に掲載されました。



また5月30日にはNHK「ほっとイブニング」の生放送に制作したMCDコース3年生18名が出演しそれぞれのゲームや絵本の紹介をしました。

6月2日のNHKラジオ「夕刊ゴジらじ」17:00~17:50(愛知・岐阜・三重県域)では2名が代表で出演し制作に関してトークで伝えました。防災意識の高まりを強く感じる中、学生が防災について調べ、NPOの方々から学びデザインに落とし込んで、広く伝えていくというプロセスが生かされたプロジェクトとなりました。



理事長のご協力で、学内保存版が再制作がされ、人間発達学部



の溝口研究室と連携し近隣の小学校へ防災教育を促進していきます。

テキスタイルコースからは授業の課題から発展し、商品化された帽子について。若林剛之特別客員教授の課題「浴衣に似合う帽子」で提案されたテキスタイルコース4年生福地里沙さんデザインの帽子がsou・souから発売されました。sou・souは京都発信で全国展開している企業で、日本の良さを模様やスタイル、伝統技法で生かし現代的なデザインで展開する大変人気のブランドです。

sou・souのHPにはこの夏発売された「ねね」という帽子が大好評とのこと。

以下3つの「ねね」「椰子」「擬宝珠」名芸コラボの商品が紹介されています。

<http://sounsounetshop.jp/?pid=105874912>



ねね (nene)

「ねね」とは・・・

角隠しをイメージした帽子です。

角隠し(結婚式で、花嫁が頭に巻く白い布)の由来には「女は嫉妬に狂うと鬼になると言われていたため、それを防ぐためのまじない」という説があります。浮気癖のある豊臣秀吉に悩んでいたであろう妻“ねね”からきています。

- ・名古屋芸術大学の福地里沙さんによるデザインです。
- ・名古屋の有限会社森安謹製です。
- ・ベースの素材に和紙を使用しています。



「椰子」とは・・・

ラフィアヤシでできていることから名づけました。

- ・名古屋芸術大学の小川真実さんによるデザインです。



左/擬宝珠 右/椰子

「擬宝珠」とは・・・

伝統的な建築物の装飾で橋や神社などの柱の上に設けられている飾りである擬宝珠に似ていることから名づけました。

- ・名古屋芸術大学の才川清香さんによるデザインです。

テキスタイルデザインコースの在校生、卒業生が地場産業や日本の伝統を生かし、ますます活躍されています。

今回は2つのコースの活動報告をいたしました。現在デザイン学部にある10コース全て積極的に社会との交流を持ちながらも、個々の制作力も増進させております。就職率の高さからも、その成果が伺えます。

3月末、4月以降(第二新卒)100%就職率というコースもありデザイン全体では92%を超える就職率となっています。学生支援課の就職に関するサポートシステムも年々きめ細やかに対応しており学生の意識も高まっております。デザイン学部14年間で積み上げてきた教育システムと環境、学生と教員の信頼関係の構築などを継続し、今後より有効的な展開を進めてまいります。ご意見などございましたら、ご忌憚なくお伝えください。

引き続き後援会の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

デザイン学部長 教授 櫃田珠実

## 人間発達学部



入学式の様子

人間発達学部は開設されてちょうど10年目を迎えました。来年度からは二学部構成の中の一学部となり、さらに名古屋芸術大学での存在価値が大きくなります。教育・保育系大学の志願者が減少する中で「2018年問題」にどう対応するかが問われてきています。今年度は408名の学生が在籍し、子ども発達学科15名、教養担当5名の学部専任教員が学生の教育にあたっております。学生数は学部創設時代と比較して正直に申し上げかなり減少しております。

しかしながら、旧短期大学部・人間発達学部・音楽学部・美術デザイン学部の同窓会のお力もあり、卒業生のお子様やご兄弟の方々の入学も多く、大変嬉しく有り難く思っております。また、影ながら支えてくださる姿勢にも心から感謝申し上げます。入学者減少を重く受け止め、学部改編委員会を6月に発足し会議を重ねてまいりました。夏休みには集中討議を行い、学生数減少の理由を学生アンケート調査から分析いたしました。その結果見えたことは、今までの自由学院の資産を大切にすべきであるということです。さらに、今年度から学部就職委員会がようやく機能し始めました。昨年度の就職率は98%と他大学同一学部引けを取ってはおりません。今年度も途中経過ですが、公立保育所採用一次試験に多くの学生が合格しております。また、小学校教諭や公立保育所に既卒合格も数多く報告されております。

人間発達学部には芸術的センスに秀でた学生が多く入学してきておりますが、専門的な芸術教育ではなく、保育・教育に即した芸術教育を実施していくことが学部の緊急の課題です。現在行っている内容をさらに充実し芸大の中の保育・教育系学部としての活路を開きたいと考えます。

在籍学部学生は相変わらず元気いっぱい楽しく意欲を持って学生生活を過ごし、自分の将来の目的達成に向けて頑張っております。

### 学部行事

#### (1)新入生オリエンテーション

4月2日から1泊2日の日程で新入生オリエンテーション合宿を行いました。場所は犬山市の「名鉄犬山ホ

テル」で、1泊2日の諸活動に取り組みました。初日は、名鉄犬山ホテルに直接集合しゼミのグループごとに分かれて、満開の桜で美しく彩られた犬山城下町を自由に散策しました。その後、ホテルに戻り、午後からの「全体会Ⅰ」に参加しました。鎌倉博先生

によるミニ講義や運営委員の4年生からは大学生活をより有意義に過ごすためのアドバイスの数々が伝えられました。夜の「ゼミ討論」では、「あこがれ〜どんな大人になりたいか〜」をテーマに熱心に話し合いました。



ゼミ活動の様子

2日目の「全体会Ⅱ」では、各々のゼミで深めたテーマを報告するゼミ発表会を行いました。お互いが学びあい親睦を深め

#### (2)文化創造セミナー

5月26日(木)、東キャンパス1号館で、文化創造セミナー「身近で楽しい音さがし」が開催されました。今回のゲストは「kajii」で、



文化創造セミナー 茶碗、どんぶり、湯のみなどを使ったオリジナル楽器「食琴(dishphone)」をメインに身の回りにあるあらゆる日用品で音楽を奏でる実践を披露してくれました。満席の会場に、後方中央の扉から、「食琴」を肩から掛けたクマーマと、洗濯板を中心にいろいろなモノを取り付けた楽器を首に掛けた創が、拍手に送られて入ってきてセミナーがスタートしました。セミナーの締めは、「kajiiの森」でした。クマーマが食琴で、創は森をイメージした打楽器で、学生たちが制作したチャフチャスも取り付けて演奏してくれました。森から生じる様々な音をイメージできる演奏でした。満席の会場から大きな拍手でセミナーを予定通り終了しました。

人間発達学部長 教授 星野英五

#### オリエンテーション合宿



# 学生部報告

今年度も前期の授業期間を終え、大学は夏季休業に入りました。これからは一ヶ月半ほど、教員は自分の研究に専念し、後期の授業の準備にとりかかります。事務職員もルーティンワークを続けながらそれぞれの持ち場で前期の業務を点検し、学生の就学について支援の改善を図ります。学生諸君には、この休暇の期間を多方面にわたって見聞を広める充実した機会としてもらえるように期待しております。

さて今回は、後援会の皆様に、名古屋芸術大学の昨年度の就職状況および就職支援についてご報告させていただきたいと思っております。

すでにご承知と思いますが、来年の2017年3月に卒業する現在の4年生の学生から、就職活動のスケジュールが変更されることになりました。経団連が大学生向けの採用活動のガイドラインを決定し、面接を含む選考は2ヶ月前倒しにして6月1日から開始されることになりました。これにより公務員試験や実習等が6月に重なる可能性が生じましたが、本学の学生支援課はその混乱を回避すべく、就職活動の対応に当たっております。どうかご安心ください。

まず①就職状況ですが、音楽学部は92%、人間発達学部は98%でした。美術学部は87%、デザイン学部は90%という結果になっています。本学の就職率としては例年並みですが、今後も100%を目指して質の高い支援を続けていくことにしております。

次に②就職支援の内容ですが、昨年度から4年生に向けて就職情報を見落とすことがないようにとメール配信を始めました。また就職活動を行っていない学生を調べ、個別のアプローチをしています。東キャンパスでは、一般企業、公立および私立の幼稚園や保育園、教員採用など、それぞれに異なる就活スケジュールに合わせて就職ガイダンスを実施しています。西キャンパスについては、企業とのつながりをも期待して、学内で30社ほどの企業説明会を実施し（1Dではさらに20社が加わる）、積極的に対応しています。大手企業への就職を志す学生のためには、ポートフォリオの専門的指導者による個別指導を行っております。また4年生への全学的な個別対応としては、履歴書を添削したり、集団討論や模擬面接などを頻繁に行い、きめの細かい支援に努めております。

前回の学生部の報告では、新たに着手したキャリア教育について比較的細かく紹介しましたが、今回は学生の就職支援についてご紹介しました。なお両キャンパスの2015年度の就職ガイダンスにつきましては、『DATA BOOK 2016』にデータを掲載しておりますので(53-55頁)、参照いただければ幸いです。

最後に、後援会の皆様の平素からのご支援に対して心からの感謝を申し上げ、結びの言葉とさせていただきます。

学生部長 教授 橋本裕明



## ■2016年度学生数

2016年5月1日現在 **総学生数 1,990人**

学 部	学 科	1 年			2 年			3 年			4 年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
音 楽 学 部	演 奏 学 科	9	31	40	6	34	40	8	44	52	10	43	53	185
	音楽文化創造学科	18	58	76	36	45	81	17	33	50	9	29	38	245
	音楽学部小合計	27	89	116	42	79	121	25	77	102	19	72	91	430
美 術 学 部	美 術 学 科	21	63	84	26	66	92	25	61	86	25	70	95	357
	美術学部小合計	21	63	84	26	66	92	25	61	86	25	70	95	357
デザイン学部	デザイン学科	63	131	194	61	122	183	53	135	188	42	133	175	740
	デザイン学部小合計	63	131	194	61	122	183	53	135	188	42	133	175	740
人間発達学部	子ども発達学科	18	52	70	24	72	96	27	68	95	47	100	147	408
	人間発達学部小合計	18	52	70	24	72	96	27	68	95	47	100	147	408
学 部 生 合 計		—	—	464	—	—	492	—	—	471	—	—	508	1935

研 究 科	1 年			2 年			合計
	男	女	計	男	女	計	
音 楽 研 究 科	4	6	10	6	3	9	19
美 術 研 究 科	2	14	16	1	10	11	27
デザイン研究科	2	0	2	3	0	3	5
人間発達学 研究科	0	0	0	1	3	4	4
大 学 院 生 合 計	—	—	28	—	—	27	55

## 2016年度 年間行事予定表【音楽学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	金	入学式
	2	土	オリエンテーション(4/2~4/9)
			↓
	6	水	健康診断
	8	金	前期授業開始
	9	土	
	29	金	休校 昭和の日
	30	土	休校 臨時休校日
5月	1	日	休校 開学記念日
	2	月	休校 臨時休校日
	3	火	休校 憲法記念日
	4	水	休校 みどりの日
	5	木	休校 こどもの日
	15	日	後援会定期総会
	30	月	教育実習(5/30~6/11)
	31	火	教育懇談会
6月	11	土	↓ オープンキャンパス
	24	金	前期実技試験曲目提出期間(6/24~7/7)
7月	7	木	↓
	18	月	海の日 授業日
	29	火	試験期間(7/29~8/2)
			↓
8月	1	月	
	2	火	↓
	3	水	音楽実技試験(8/3~8/4) 集中講義期間(8/3~8/12)
	4	木	↓
	5	金	音楽講習会(8/5~8/8)
			↓
	8	月	
	12	金	↓
	18	木	前期試験合否発表(13:00)
	20	土	オープンキャンパス(人間発達学部)
23	火	追再試験(8/23~8/25)	
		↓	
25	木		
31	水	前期追再試験合否発表(13:00)	
9月	11	日	AO入試
	16	金	後期履修登録
	19	月	後期授業開始(敬老の日)
	22	火	秋分の日 授業日
	24	土	オープンキャンパス

月	日	曜日	後期行事予定
10月	5	水	前期卒業式
	10	月	体育の日 授業日
	15	土	超領域入試
	20	木	防災訓練
	28	金	芸大祭(10/28~10/31)
			※休講
	30	日	ミニオープンキャンパス
	31	月	↓ 芸大祭後片付け 休講(3年生は補講日)
11月	3	火	文化の日 授業日
	12	土	指定校推薦・一般推薦入試
	22	火	休校 学院創立記念日
	23	水	休校 勤労感謝の日
	24	木	後期実技試験曲目提出期間(11/24~12/7)
12月	3	土	↓ 3年編入前期・大学院A日程入試
	7	水	↓
	23	金	天皇誕生日 授業日
	24	土	音楽講習会(12/24~12/27)
			↓
1月	27	火	↓
	29	木	冬期一斉休業期間(閉校)(12/29~1/3)
			↓
	3	火	↓
2月	9	月	休校 成人の日
	19	木	実技試験期間(1/19~1/21)
			↓
	21	木	
	23	月	後期試験期間(1/23~1/25)
			↓
25	水		
26	木	補講集中講義期間(1/26~2/7)	
3月	5	日	一般A日程
	6	月	一般A日程・3年編入後期入試
	7	火	↓ 後期試験合否発表(13:00)
	10	金	追再試験(2/10~2/14)
			↓
	11	土	休校 建国記念の日
	14	火	↓
21	火	追再試験合否発表(13:00)	
3月	1	水	卒業判定会議
	4	土	オープンキャンパス
	7	火	研究生入試
	8	水	進級判定会議
	20	月	卒業式 春分の日
	25	土	一般B日程・大学院B日程入試
	29	水	新年度オリエンテーション予定(3/29~3/30)
	30	木	↓

## 2016年度 年間行事予定表【美術学部・デザイン学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	金	入学式
	4	月	オリエンテーション(4/4~4/7)
		}	
	7	木	↓
	8	金	授業開始
	9	土	健康診断・新入生歓迎会
	29	金	休日 昭和の日
	30	土	休日 臨時休校日
5月	1	日	休日 開学記念日
	2	月	休日 臨時休校日
	3	火	休日 憲法記念日
	4	水	休日 みどりの日
	5	木	休日 こどもの日
6月	11	土	オープンキャンパス
7月	17	日	オープンキャンパス
	18	月	海の日 授業日
	23	土	AO入試第1回体験授業
	29	金	前期試験期間(7/29~8/2)
		}	
	30	土	AO入試第2回体験授業
	31	金	一日芸大生
8月	2	火	↓
	3	水	前期補講・集中講義期間(8/3~8/10)
		}	
	10	水	↓
	11	木	休日 山の日
	12	金	前期補講・集中期間
	18	木	前期試験合否発表
	23	火	前期追再試験(8/23~8/25)
		}	
	25	木	↓
	27	土	AO入試
31	水	追再試験合否発表	
9月	15	木	後期オリエンテーション
	16	金	後期WEB履修登録
	19	月	敬老の日 後期授業開始
	21	水	前期卒業判定会議
	22	木	秋分の日 授業日
	24	土	オープンキャンパス

月	日	曜日	後期行事予定	
10月	5	水	前期卒業式	
	10	月	体育の日 授業日	
	15	土	超領域入試	
	28	金	芸大祭(10/28~10/30)	
		}		
	30	日	↓ ミニオープンキャンパス	
	31	月	芸大祭後片付け	
11月	3	木	文化の日 授業日	
	5	土	大学院Ⅰ期・3年編入Ⅰ期入試	
	6	日	推薦入試	
	22	火	休日 学院創立記念日	
	23	水	休日 勤労感謝の日	
12月	3	土	地域入試(浜松・金沢)	
	10	土	地域入試(沖縄・高知・長崎)	
	17	土	自己推薦入試	
	23	金	天皇誕生日 授業日	
	29	木	冬期一斉休業期間(12/29~1/3)	
		}		
1月	3	火	↓	
	6	金	後期授業開始	
	9	月	休日 成人の日	
	19	木	後期補講・集中期間(1/19~1/20)	
	20	金	↓	
	23	月	後期試験期間(1/23~1/25)	
		}		
	25	水	↓	
	26	木	後期補講・集中期間(1/26~2/3)	
	2月		}	
		3	金	↓
5		日	A日程入試(2/5~2/6)	
6		月		
7		火	後期試験合否発表 集中講義日	
9		木	研修生入試・大学院Ⅱ期入試	
10		金	後期追再試験(2/10~2/14)	
	}			
14	火	↓		
21	火	後期追再試験合否発表		
3月	1	水	卒業判定会議	
	8	水	進級判定会議	
	13	月	転学部・転科転コース、研究生入試	
	20	日	春分の日 卒業式	
	24	金	B日程入試	

## 2016年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	金	入学式
	2	土	オリエンテーション(4/2~4/7)
			↓
	4	月	新入生宿泊オリエンテーション(4/4~4/5)
	5	火	
	6	水	健康診断
	7	木	↓
	8	金	前期授業開始
	29	金	休校 昭和の日
	30	土	休校 臨時休校日
5月	1	日	休校 開学記念日
	2	月	休校 臨時休校日
	3	火	休校 憲法記念日
	4	水	休校 みどりの日
	5	木	休校 こどもの日
	15	日	後援会定期総会
	31	火	教育懇談会
	6月	11	土
7月	16	土	オープンキャンパス
	18	月	海の日 授業日
	29	火	試験期間(7/29~8/2)
			↓
8月	1	月	
	2	火	↓
	3	水	集中講義期間(8/3~8/12)
			↓
	5	金	音楽講習会(8/5~8/8)
			↓
	8	月	
	11	木	休校 山の日
	12	金	↓
	18	木	前期試験合否発表(13:00)
	20	土	オープンキャンパス(人間発達学部)
	23	火	追再試験(8/23~8/25)
			↓
25	木		
26	金	AO入試(A日程)	
31	水	前期追再試験合否発表(13:00)	
9月	8	木	後期履修登録3・4年生
	9	金	後期履修登録1・2年生
	11	日	AO入試(B日程)
	12	月	3年生補講(9/12~9/16)
			↓
	16	金	
	19	月	後期授業開始(敬老の日)
	21	水	前期卒業判定会議
	22	火	秋分の日 授業日
	24	土	特別公開講座・オープンキャンパス
26	月	教育実習(幼・小)(9/26~10/21)	

月	日	曜日	後期行事予定
10月	5	水	前期卒業式
	10	月	体育の日 授業日
	15	土	超領域入試
	20	木	防災訓練
	21	金	↓
	28	金	芸大祭(10/28~10/31)
			※休講
	30	日	ミニオープンキャンパス
	31	月	芸大祭後片付け 休講(3年生は補講日)
	11月	3	火
12		土	指定校A入試・指定校入試
22		火	休校 学院創立記念日
23		水	休校 勤労感謝の日
12月	10	土	推薦B、AO(C日程)、社会人、3年編入A、大学院一次入試
	23	金	天皇誕生日 授業日
	24	土	音楽講習会(12/24~12/27)
			↓
	27	火	3年生補講(12/27~12/28)
	29	木	冬期一斉休業期間(閉校)(12/29~1/3)
			↓
1月	3	火	
	9	月	休校 成人の日
	19	木	補講期間(1/19~1/20)
	20	金	↓
	23	月	後期試験期間(1/23~1/25)
			↓
	25	水	
	26	木	補講集中講義期間(1/26~2/1)
			↓
	2月	1	水
5		日	一般A入試(2/5~2/6)
6		月	↓ 大学入学資格審査入試
7		火	後期試験合否発表(13:00)
10		金	追再試験(2/10~2/14)
			↓
11		土	休校 建国記念の日
13		月	保育所実習(2/13~2/25)
14		火	↓
3月		20	月
	21	火	追再試験合否発表(13:00)
	25	土	
	28	火	
	1	水	卒業判定会議
	4	土	オープンキャンパス
	5	日	一般B・センター後期入試
8	水	進級判定会議	
20	月	卒業式 春分の日	
25	土	一般C・3年編入B・大学院二次・研究生入試	
29	水	新年度オリエンテーション予定(3/29~3/30)	
30	木	↓	



## アート&デザインセンター 2016/2017 展覧会スケジュール

2016	
4月1日(金)～4月13日(水)	2015年度デザイン学部レビュー選抜展
4月15日(金)～4月20日(水)	「書道アート展3」～書的アブストラクション(仮)
4月22日(金)～4月27日(水)	写真部presents フィルム展
//	林あかり 個展 「まばゆいものたち」
5月6日(金)～5月11日(水)	高校生のチカラ～芸術への招待
5月13日(金)～5月18日(水)	Peace nine 2016
//	アートクリエイターコース・コレクション展
5月20日(金)～5月25日(水)	名古屋芸術大学 美術・デザイン学部 OB・OG展2016
5月27日(金)～6月1日(水)	PLAYGROND イラストレーションコース3・4年生作品展
6月3日(金)～6月8日(水)	From Denmark 2016 展
6月10日(金)～6月15日(水)	名古屋芸術大学教員展/落合先生の引き出し展ーヴィジュアルデザインからおもちゃまで
6月17日(金)～6月22日(水)	プレソツ展
6月24日(金)～6月29日(水)	名古屋芸術大学大学院 洋画制作 2016
7月1日(金)～7月6日(水)	スペースデザインコース展(くうねるところにすむところ展)
//	大学院 コミュニケーションアート&デザイン演習発表展
//	息の発見
7月8日(金)～7月13日(水)	2016年度前期留学生作品展
7月15日(金)～7月27日(水)	2016年度アート&デザインセンター企画展「版の方法論：50×50」展
7月29日(金)～8月10日(水)	素材展(クラフトブロック前期制作展)
9月23日(金)～9月28日(水)	第29回バスケットリー展/佃真弓カゴによる世界との交流/川瀬三重子のさざめく形
9月30日(金)～10月5日(水)	彫刻展(アートクリエイターコース-彫刻クラス)
10月7日(金)～10月12日(水)	ア”ーッ!ラジオ2016&大学院同時代表現制作展(仮)
10月14日(金)～10月19日(水)	洋画1コース3・4年展
10月21日(金)～11月2日(水)	2016年度アート&デザインセンター企画展絵本作家 三浦太郎 絵本作家の仕事(仮)
11月4日(金)～11月9日(水)	『幼稚園児たちのゲイジツ2016』展
//	『Hand Hospeace: 医療と美術 2016』
11月11日(金)～11月16日(水)	MCDデパートメント
11月18日(金)～11月23日(水)	版の神髄: マルメから2016展
11月25日(金)～11月30日(水)	メディアデザインコース展
12月2日(金)～12月7日(水)	洋画2コース2年生展覧会
12月9日(金)～12月14日(水)	ブライトン大学との国際交流20周年記念事業展
//	2016年度後期留学生作品展
12月16日(金)～12月21日(水)	こどもの空間 絵本と家具
//	洋画2コース 4年 三人展
//	地場産業の布展(仮)
2017	
1月6日(金)～1月11日(水)	ガラス・陶芸コース2・3年生合同展覧会(仮)
1月13日(金)～1月18日(水)	日本画3年コース展
2月21日(火)～2月26日(日)	第44回名古屋芸術大学卒業制作展
4月	2016年度デザイン学部 レビュー選抜展

※都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

# Art & Design Center



名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

2016年度

## 入学式



入学式会場入り口の様子と満開の桜

満開の桜が咲き誇る4月1日(金)、2016年度名古屋芸術大学入学式が本学西キャンパス体育館で行われました。

大学院入学生(音楽・美術・デザイン・人間発達学研究科)と学部入学生(音楽・美術・デザイン・人間発達学部)が着席し、その保護者の方々や来賓の皆様をお迎えした会場で、開式に先立ち、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラにより、矢藤 学作曲のマーチ「スカイブルー・ドリーム」【指揮：竹内雅一(演奏学科教授)】が式前演奏されました。

定刻を迎え、開式のことばに続いて、竹本義明学長から学部・大学院入学生の「入学許可」が宣言されました。この後、学長が大学を代表して出席者に式辞を述べられました。学長はお祝いの言葉と共に、名古屋芸術大学の教育理念や使命、現代を取り巻く社会情勢と芸術文化の果たすべき役割、そして、それらを踏まえて入学生に期待することなど、激励の言葉を送られました。

続いて、入学生代表による宣誓が行われ、大学院を代表して音楽研究科器楽専攻の井上明日香さんと、学部を代表してデザイン学部デザイン学科の富永侑里さんが力強く宣誓を行いました。

この後、本学の設置法人である学校法人名古屋自由学院の理事長、川村大介氏からの挨拶がありました。そし



入学生代表による宣誓  
(大学院音楽研究科  
器楽専攻 井上明日香さん)



川村大介理事長祝辞



名古屋芸術大学ウィンドオーケストラによる歓迎演奏  
(指揮：演奏学科教授 竹内雅一)

て、ご出席の来賓の皆様のご紹介を行い、最後に、本学教員役職者を紹介して式典を終了しました。

この後、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラによる新入生歓迎演奏が行われました。曲は Philip Sparke 作曲の「輝く雲にうち乗りて」で、ウィンドオーケストラの力強い音響が会場の隅々まで流れ、芸術大学に相応しい趣のある入学式となりました。

式典終了後は、新入生を対象とした全体オリエンテーションが実施されました。東西両キャンパスの学生支援課長の司会進行で、まず、橋本裕明学生部長から、お祝いの言葉を含め、4年後の自分に向けて大学生生活を充実させ、学年、段階を追ってキャリアガイダンスが行われていること、就職支援講座や資格取得講座を開講していること、学生生活のサポート役として学生支援課があり、個々に合わせた対応をしていること、などが説明されました。

続いて、各学部の卒業生(同窓会)より、お祝いのメッセージやパフォーマンスが行われました。

美術・デザイン学部卒業生を代表して、同窓会長の中島弘敬氏よりお祝いのスピーチがありました。中島氏はデザイン会社の社長を務めておられます。人間発達学部の卒業生からは、同窓会長菅野謙一氏の代理として伊藤沙知氏より祝辞がのべられました。

次に、音楽学部卒業生からは、本学声楽コースの非常勤講師で同窓会長の山田正文氏による祝辞と「声楽披露」が行われました。曲目は「オー・ソレ・ミオ(私の太陽)」。迫力のあるすばらしい歌声が会場いっぱい響きわたり、式が閉じられました。



橋本裕明学生部長による  
オリエンテーション



美術・デザイン学部同窓会長  
中島弘敬氏による祝辞

# 就職セミナーの紹介

学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っていますので、気軽に利用してください。

※就職課では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

## 2017年度 就職対策・キャリア支援行事予定表

### 《音楽学部》

月	学年	講座内容	対象
10 前学期	3年生	進路選択前のキャリアマネープラン	
	4年生	全体就職ガイダンス	
4	全学年	第1回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		カワイ音楽講師・グレード試験学内説明会	音楽講師希望者
		作文添削	
	4年生	教員採用試験全体説明会	教員採用試験受験者全員
		愛知県教員採用試験全体説明会	愛知県受験者
5	全学年	第2回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		システム講師・ヤマハ大人の音楽レッスン講師学内説明会	音楽講師希望者
		作文添削	
	3年生	スタートアップA(就職活動の基本事項の確認)	
		スタートアップB(就職活動の基本事項の確認)	
		自己分析とはA	
	4年生	名古屋教員採用試験説明会	名古屋市受験者
		岐阜県教員採用試験説明会	岐阜県受験者
三重県教員採用試験説明会		三重県受験者	
6	全学年	第3回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	自己分析とはB	
		自己分析・適性検査	
		インターンシップとはA	
		東京アカデミー教員採用試験対策講座(就職支援・資格取得講座内)について	講座受講希望者
		インターンシップとはB	
自己分析・適性検査結果の就職活動への活かし方			
7	3年生	企業研究(業界・業種研究とは)A	
		企業研究(業界・業種研究とは)B	
8・9	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講希望者
9	全学年	第4回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講者
10	3年生	就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認)A	
	4年生	講師登録説明会・特別支援学校説明会	教員希望者
11	全学年	第5回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認)B	
		履歴書・エントリーシートとはA	
		履歴書・エントリーシートとはB	
		ワークルール 働く上での基礎知識	
		就職採用試験【筆記試験】とはA	
就職採用試験【筆記試験】とはB			
12	全学年	作文添削	
		教員採用試験 今からやっておくことガイダンス	教員希望者
	3年生	面接対策ガイダンスA	
		面接対策ガイダンスB	
		ビジネスマナーガイダンス	
1	全学年	第5回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者
		作文添削	
	3年生	希望別就職活動ガイダンス(企業希望者)	
		スーツの着こなしガイダンス	
		メイクのガイダンス	
春季 休暇	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講者
通年	4年生	ハローワーク訪問	企業希望者

## 《美術学部・デザイン学部》

月	学年	講座内容	対象
4	全学年	第1回就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(就職活動における今後のスケジュール)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(インターンシップについて大学とＩＳと一般公募ＩＳの違い等)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(インターンシップのためのエントリーシート・履歴書・面接対策)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(インターンシップのためのスーツの着こなし)	美術学部・デザイン学部
4年生・大学院2年生	教員採用試験学内説明会	教員採用試験受験者	
5	全学年	第2回就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
	2・3年生・大学院1年生	夏季インターンシップ(ガイダンス授業)	インターンシップ参加者
		夏季インターンシップ(業種・職種・企業研究/実習エントリーシートの作成について)	インターンシップ参加者
		夏季インターンシップ参加申込受付	インターンシップ参加者
	2・3年生・大学院1・2年生	留学生就職ガイダンス(日本で就職するためには)	留学生
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(公務員・教員になるには)	美術学部・デザイン学部
就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座①)		美術学部・デザイン学部	
4年生・大学院2年生	教員採用試験学内説明会	教員採用試験受験者	
6	全学年	第3回就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(自己分析・自己啓発のための職務適性テストの実施)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(キャリア&マネープラン卒業後のお仕事とお金に関する知識)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(就職サイト活用法)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(職務適性テスト解説・自己分析ガイダンス)	美術学部・デザイン学部
7	2・3年生・大学院1年生	夏季インターンシップ(ビジネスマナー講習(事前研修))	インターンシップ参加者
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座②)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(4年生による就職活動体験パネルディスカッション)	美術学部・デザイン学部
4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(ハローワーク説明会・就職活動リスタート講座)	美術学部・デザイン学部	
8・9	2・3年生・大学院1年生	夏季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者
9	全学年	就職ガイダンス(広告・WEB・マスコミ業界研究)	美術学部・デザイン学部
	3年生・大学院1年生	第4回就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
10	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(デザイン業界研究)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(履歴書・エントリーシートの書き方)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(適性試験対策)	美術学部・デザイン学部
11	全学年	第5回就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
	2・3年生・大学院1年生	春季インターンシップ(ガイダンス授業)	インターンシップ参加者
		春季インターンシップ(業種・職種・企業研究/実習エントリーシートの作成)	インターンシップ参加者
		春季インターンシップ参加申込受付	インターンシップ参加者
	1年生・2年生	キャリアガイダンス(卒業後の進路を考える)	美術学部・デザイン学部
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(SPI受験会)	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(進学(大学院・研究生等)について)	美術学部・デザイン学部
4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(スーツの着こなし・メイク)	美術学部・デザイン学部	
12	1年生	キャリアガイダンス(業界セミナー(株式会社スペース))	美術学部・デザイン学部
		キャリアガイダンス(業界セミナー(株式会社たきC1))	美術学部・デザイン学部
		キャリアガイダンス(業界セミナー(梅津論氏))	美術学部・デザイン学部
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(求人NAV1探し方・ワークルールについて)	美術学部・デザイン学部
就職ガイダンス(面接対策)		美術学部・デザイン学部	
3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座③)	美術学部・デザイン学部	
	就職ガイダンス(4年生内定者との業界別座談会)	美術学部・デザイン学部	
1~3	全学年	各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者
1	全学年	第6回就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者
	2・3年生・大学院1年生	春季インターンシップ(ビジネスマナー講座(事前研修))	インターンシップ参加者
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(ビジネスマナー)	美術学部・デザイン学部
就職ガイダンス(グループディスカッション対策)		美術学部・デザイン学部	
2~3	2・3年生・大学院1年生	春季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者
2	3年生・大学院1年生	就職用写真撮影	美術学部・デザイン学部
		就職ガイダンス(直前対策・合同説明会のまわり方)	美術学部・デザイン学部
4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(ハローワーク登録会)	美術学部・デザイン学部	
3	3年生・大学院1年生	企業の就職・採用活動開始	美術学部・デザイン学部

## 《人間発達学部》

月	学年	講 座 内 容	対 象	
テ ィ ン グ シ ョ ウ	3年生	進路選択前のキャリアマネープラン		
	4年生	全体就職ガイダンス		
4	全学年	第1回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者	
		カワイ音楽講師・グレード試験学内説明会	音楽講師希望者	
		作文添削		
	4年生	教員採用試験全体説明会	教員採用試験受験者全員	
		愛知県教員採用試験全体説明会	愛知県受験者	
5	全学年	第2回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者	
		システム講師・ヤマハ大人の音楽レッスン講師学内説明会	音楽講師希望者	
		作文添削		
	3年生	スタートアップA(就職活動の基本事項の確認)		
		スタートアップB(就職活動の基本事項の確認)		
			自己分析とはA	
	4年生		名古屋市教員採用試験説明会	名古屋市受験者
		岐阜県教員採用試験説明会	岐阜県受験者	
		三重県教員採用試験説明会	三重県受験者	
6	全学年	第3回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者	
		作文添削		
	3年生		自己分析とはB	
			自己分析・適性検査	
			インターンシップとはA	
			東京アカデミー教員採用試験対策講座(就職支援・資格取得講座内)について	講座受講希望者
		インターンシップとはB		
		自己分析・適性検査結果の就職活動への活かし方		
7	3年生	企業研究(業界・業種研究とは)A 企業研究(業界・業種研究とは)B		
8・9	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講者	
9	全学年	第4回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者	
10	3年生	就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認)A		
	4年生	講師登録説明会・特別支援学校説明会	教員希望者	
11	全学年	第5回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者	
		作文添削		
	3年生		就職活動の基本(就職活動準備・最新情報確認)B	
			履歴書・エントリーシートとはA	
			履歴書・エントリーシートとはB	
			ワークルール 働く上での基礎知識	
		就職採用試験【筆記試験】とはA		
		就職採用試験【筆記試験】とはB		
12	全学年	作文添削		
		教員採用試験 今からやっておくことガイダンス	教員希望者	
	3年生	面接対策ガイダンスA		
		面接対策ガイダンスB		
		ビジネスマナーガイダンス		
1	全学年	第5回 就職支援・資格取得講座受付	講座受講希望者	
		作文添削		
	3年生	希望別就職活動ガイダンス(企業希望者)		
		スーツの着こなしガイダンス		
		メイクのガイダンス		
春季 休暇	講座受講者	各種就職支援・資格取得講座 実施	講座受講者	
通年	4年生	ハローワーク訪問	企業希望者	

## ■2015年度 音楽学部進路状況

2016年5月1日現在

		演奏		音楽文化創造		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女		
就	教職関係	公立学校教員	1	11	0	2	1	13	14
		私立学校教員	0	0	0	0	0	0	0
		その他教育機関(海外等)	0	0	0	1	0	1	1
	小計	1	11	0	3	1	14	15	
	福祉関係	福祉施設等(音楽療法士含む)	0	1	1	2	1	3	4
	小計	0	1	1	2	1	3	4	
	音楽講師	ヤマハ・カワイ講師	0	9	0	0	0	9	9
		楽器店講師	0	3	1	0	1	3	4
		自宅教室(ピアノ)	0	1	0	0	0	1	1
		自宅教室(他)	0	1	0	0	0	1	1
幼稚園・保育所		0	0	0	0	0	0	0	
小計	1	14	1	0	1	14	15		
音楽家	奏者(フリー)	0	4	6	3	6	7	13	
	ミュージカル・アーティスト	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	4	4	6	3	6	7	13	
一般企業	2	14	8	19	10	33	43		
各種団体等	0	0	0	0	0	0	0		
小計	2	14	8	19	10	33	43		
公務員	行政職	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	1	2	0	1	1	3	4	
	小計	1	2	0	1	1	3	4	
合計	4	46	16	28	20	74	94		
進学	大学院	2	6	1	1	3	7	10	
	研究生	4	4	0	0	4	4	8	
	海外(留学)	1	0	0	0	1	0	1	
	その他(大学・専門等)	1	4	0	0	1	4	5	
	合計	8	14	1	1	9	15	24	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	1	1	1	1	2	3	
合計	0	1	1	1	1	2	3		
活動中(調査中)	講師登録・その他	0	5	1	4	1	9	10	
合計	0	5	1	4	1	9	10		
総合計	12	66	19	34	31	100	131		

卒業生数(9月卒業なし)	12	66	19	34	31	100	131
就職・進学希望者数	12	65	18	33	30	98	128
就職・進学者数	12	60	17	29	29	89	118
就職・進学率	100%	92%	94%	88%	97%	91%	92%
	94%	90%	92%				

## ■2015年度 美術学部進路状況

2016年5月1日現在

		日本画コース		洋画1・2コース		彫塑・陶芸・ガラス		アートワーカーコース		美術文化コース		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
就	教育関係	公立学校教員関係(非常勤含)	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	6	6
		私立学校教員関係(非常勤含)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	6	6
	作家活動	0	0	0	5	0	0	0	4	0	0	0	9	9	
	小計	0	0	0	5	0	0	0	4	0	0	0	9	9	
	一般企業等(産業別)	印刷関連(製造業)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		工業製品(製造業)	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	5	5
		その他美術関連(製造業)	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	3
		卸売業・小売業	0	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	9	9
		サービス業(デザイン業等)	0	3	0	1	0	0	1	2	0	0	1	6	7
その他業種(上記以外)		0	3	0	3	0	0	0	1	0	0	0	7	7	
上記以外のその他		0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	1	4	5	
小計	1	12	0	13	2	5	1	3	0	0	4	33	37		
公務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	1	15	0	21	2	5	1	7	0	0	4	48	52		
進学	大学院	0	2	0	6	1	1	1	3	0	2	2	14	16	
	研究生	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(専門)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	2	
合計	0	2	0	6	3	2	2	3	0	2	5	15	20		
就職希望なし	結婚・家事・自宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	5	5	
合計	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	5	5		
就職活動中	講師登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	2	1	3	0	0	1	3	0	1	2	9	11	
合計	0	2	1	3	0	0	1	3	0	1	2	9	11		
総合計	1	22	1	30	5	8	4	14	0	3	11	77	88		

卒業生数	1	22	1	30	5	8	4	14	0	3	11	77	88
就職・進学希望者数	1	19	1	30	5	7	4	13	1	3	11	72	83
就職・進学者数	1	17	0	27	5	7	3	10	0	2	9	63	72
就職・進学率	100%	89%	0%	90%	100%	100%	75%	77%	0%	67%	82%	88%	86.7%
	90.0%	87.1%	100.0%	76.5%	50.0%	86.7%							

## ■2015年度 デザイン学部進路状況

2016年5月1日現在

		デザイン科								合計		総計	
		MCブロック		PSブロック		Crブロック		LSブロック		男	女		
		男	女	男	女	男	女	男	女				
就職関係	公立学校教員関係(非常勤)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	私立学校教員関係(非常勤)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	フリーランスデザイナー	2	5	0	0	0	2	0	0	2	7	9	
	小計	0	5	0	0	0	2	0	0	2	7	9	
	就職(一般企業等(産業別))	印刷関連(製造業)	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	4
		車など/工業製品(製造業)	2	7	5	2	1	5	0	1	8	15	23
		その他美術関連(製造業)	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	3
		卸売業・小売業	1	9	1	0	0	9	0	1	2	19	21
		サービス業(デザイン業等)	7	23	1	5	0	4	0	6	8	38	46
その他業種(上記以外)		2	11	3	9	0	4	1	4	6	28	34	
上記以外のその他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		12	54	10	16	1	25	1	12	24	107	131	
公務員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		14	59	10	16	1	27	1	12	26	114	140	
進学	大学院	0	1	2	0	0	0	0	0	2	1	3	
	研究生	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他(専門)	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	
合計		0	1	3	0	0	0	1	0	4	1	5	
就職希望なし	結婚・家事・自宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	1	2	0	0	1	1	1	0	3	3	6	
合計		1	2	0	0	1	1	1	0	3	3	6	
就職活動中	講師登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	1	4	2	4	0	4	0	1	3	13	16	
合計		1	4	2	4	0	4	0	1	3	13	16	
総合計		16	66	15	20	2	32	3	13	36	131	167	

卒業生数	16	66	15	20	2	32	3	13	36	131	167
就職希望者数	15	64	15	20	1	31	2	13	33	128	161
就職者数	14	60	13	16	1	27	2	12	30	115	145
就職率	93%	94%	87%	80%	100%	87%	100%	92%	91%	90%	90.1%
	93.7%	82.9%	87.5%	93.3%	90.1%						

## ■2015年度 人間発達学部進路状況

2016年5月1日現在

		子ども発達学科		総計	
		男	女		
		就職	公立学校教員		13
公立幼稚園教員	0		0	0	
私立幼稚園教員	0		19	19	
その他の教育機関	0		0	0	
小計		13	28	41	
就職	認定こども園	0	2	2	
	小計	0	2	2	
就職	福祉	公立保育所	3	9	12
		私立保育所	2	18	20
		福祉施設(保育士等)	4	6	10
		学童保育所(クラブ)	1	1	2
小計		10	34	44	
就職	一般企業	5	10	15	
	各種団体等	0	0	0	
	小計	5	10	15	
就職	公務員	1	0	1	
	小計	1	0	1	
合計		29	74	103	
進学	大学院	0	0	0	
	研究生	0	0	0	
	海外(留学)	0	1	1	
	その他(大学・専門等)	2	0	2	
合計		2	1	3	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	1	1	
	その他	3	1	4	
合計		3	2	5	
活動中(調査中)	講師登録・その他	2	0	2	
合計		2	0	2	
総合計		36	77	113	

卒業生数(9月卒業1名含む)	36	77	113
就職・進学希望者数	33	75	108
就職・進学者数	31	75	106
就職・進学率	94%	100%	98%

## 先輩の活躍



### 大学で学んだことを生かして

2015年度 音楽学部 演奏学科  
電子オルガン選択コース卒業

松山晃輔

私は、音楽指導スタッフとして東京にある事業所で勤務しています。子どもに直接音楽を教えることはないのですが、「すべての人がもっている音楽性を育み、自ら音楽をつくり、演奏し、楽しむことが出来る能力を育て、その音楽の歓びを広くわかちあう」という理念のもとで、音楽教室やレッスンの内容をより良いものにしていくために様々な側面から支援するのが音楽指導スタッフの中心となる仕事です。

現在は、今年の5月から導入された児童期コースの教材制作や、講師研修などの業務に主に携わっています。まだまだ勉強段階ではありますが、約30万人の子どもが通う音楽教室の教材やカリキュラム制作に携わることができるのはとても責任とやりがいのある仕事だと感じています。

大学在学中は、電子オルガンコース主催の演奏会や、オペラ・ピアノコンチェルトの演奏会（オーケストラパートを電子オルガンで演奏）などに出演しました。他コースの学生・卒業生や先生方と共演できるのはとても貴重な経験でした。また、他にも合唱・声楽コンサートの伴奏や、ミュージカル・歌曲の伴奏音源制作、演奏会の企画やステージマネージャーなど、学内外で実に様々な事を経験させて頂きました。ただステージに立って演奏するのではなく、伴奏や裏方として演奏者を支える仕事も学べたことが非常に良かったと思っています。

私は千葉県出身で、高校生のときに師事していた先生のもとで勉強したいという思いのみで名芸へ進学しました。敢えて音楽を学ぶために大学へ進学することに私自身葛藤もありましたが、周囲の支えもあり、4年間の学生生活で実に多くのことを学び、多くの素晴らしい人と出会うことができました。今は、この選択が間違っていなかったと断言できます。

4年間で学んだことも活かしながら、社会人として活躍できるよう日々努力していきたいと思っています。

(一般財団法人 ヤマハ音楽振興会 勤務)

### 子どもと一緒に成長していきたい

2015年度 人間発達学部  
子ども発達学科卒業

片岡真子

私は今年の4月から名古屋市私立保育園の保育士として、二歳児クラスの担任をしています。子どもたちの「いやいや期」が始まり、慌ただしい毎日ですが先生方と協力をして日々子どもたちと向き合っている保育をしています。

私が保育士になろうと思ったのは、幼い頃から親戚の子どもと触れ合う機会が多く「いつか子どもと関わる仕事に就きたい」と思い始めたのが最初のキッカケです。

大学4年間の間では「本当に保育士になりたいのか」と、悩む日々もたくさんありました。今では、実習で得たこと、大学時代に経験したことが自分の自信につながっています。

私が働いている保育園は、各年齢1クラス編成で子どもの定員も少ない方です。クラス関係なく、保育士が子ども一人ひとりを把握出来るようにしています。延長時間では合同で他クラスの先生方と一緒に見えています。そ

のため他クラスの子どものとも関わる機会が多くあり、各年齢に合った援助や言葉がけを先輩から学んでいます。行事が近付くと先生方と一緒に装飾を作ったり、案を考えたりして忙しく過ごしています。また保育をしていく中で保護者との関わりもとても大切だということが改めて分かりました。保育園に子どもを預けている保護者は、1日仕事をしています。その間子どもがどんなことをして過ごしているのか、何が出来るようになったのかわかりません。子どもがどんな様子だったのか、何が出来るようになったのかなど、細かく保護者に伝えることが出来るのは保育士です。伝えていくことで保護者は自分の子どもを把握でき、また安心して保育園に預けることが出来ます。子どもと同じように、保護者との信頼関係を築いていく大切さを先輩から教えていただきました。

まだまだ保育士として未熟ですが、一人前の保育士になれるようにこれからも先輩からたくさん吸収し、子どもと一緒に成長しながら毎日笑顔で過ごしていきたいです。

(名古屋市私立保育園 勤務)





## 挑戦する心

2015年度 美術学部 美術学科  
日本画コース卒業

塚谷弥生

私は現在、一つの新規開発のオンラインゲームの製作に関わる仕事をさせて頂いています。仕事内容は、オンラインゲームのUIデザイナーとしてゲーム画面をデザインすることです。

大学では、日本画コースを専攻していたので、デザインやPCでの作業についての知識や経験は全くなく、高校から7年間筆で絵だけを描いてきた私にはデジタル作業が中心の企業に就職出来るのか不安な気持ちで一杯でした。しかし、小学生の頃からの憧れのデザイナーという職業に就くため、絶対にこの会社に就職したい！と強い意志を前面に出して選考に挑みました。

ポートフォリオでは、自分よりも圧倒的に能力の高く、デジタルコンテンツを中心に学んできた他の学生に負けないよう、大学で制作したインパクトの強い、より個性ある作品を提出しました。

一般のIT企業では、デザイナー志望でデジタルでの作業経験もない、photoshopもまともに扱えない学生を採用して頂ける訳がないと弱気になった時期もありました。しかし、応援して下さった就職担当の先生や、心強い家族や知人の支えもあり、最後まで諦めず挑戦し無事内定を頂くことが出来ました。

採用が決まってからも不安は続きましたが、いざ仕事が始まってみると慣れないながらも先輩に丁寧に教えて頂きながら作業をしているうちに、毎日新しい発見をし、出来ることが少しずつ増えていることが実感でき、仕事が楽しくなってきました。職場の雰囲気も想像以上に和やかで過ごしやすく、新人でも新規開発ゲームチームの一員として、画面作成を次々任せて頂けることに日々やりがいを感じる事ができます。

これからも、ユーザーがより快適に目的の画面に辿り着くことができる、美しいユーザーインターフェースを作成できるよう日々努力を欠かさず、会社に必要とされる存在になりたいと思います。

(オンラインゲーム製作会社 勤務)



## スポーツ会社でのデザイン部門設立

2015年度 デザイン学部  
デザイン学科卒業

神野純平

私は、東海三県を中心としたスポーツコンサルティング会社の現場スタッフ兼自社内部デザイナーとして勤務しています。会社の受託している市のスポーツ施設の管理運営スタッフとして、施設を利用するお客様の接客をしながら、会社の自社運営事業のデザインをしています。

私が、スポーツ業界にデザイナーとして就職できたのは、会社が新事業を始めるためにデザイン部門設立のためでした。そのため、会社内のデザイナーは私1人です。企業説明会の時に、デザイナーの先輩が居ないことに不安を感じましたが、私はそれ以上にチャンスだと考えました。なぜなら会社内のデザイン分野のパイオニアになれると思ったからです。また、会社がスポーツに興味を持ったデザイナーを募集していたので、高校、大学とテニス部所属で、デザイン専攻の私に白刃の矢が立ち内定を頂くことができました。

デザイナーが私1人ということもあり業務は大変です。私の入社と同時に新事業が始まることとなっており、研修の段階で新事業のロゴをデザイン。入社後は、ホームページ2つ、リーフレット、名刺など多くの仕事が舞い込んできました。私が在学中の専攻外の分野もあり、デザイナーの先輩も居ないため、全てを自分で何とかしなければいけない状況でした。そのような環境に身を置いた事もあり勉強をしつつこなすことで自分の身になる実感は強かったです。

また、私のデザインが形となって、会社内で金銭が動いていくのは、不安でもありましたが、自分のデザインが世に出ていくのがうれしく感じました。

会社では、デザインに関する事は、専攻外の事まで幅広く求められます。そのため、様々な分野を勉強しています。在学中では学べない多くの事を経験し学べたと思います。これからも会社で、様々な分野のデザインをしていくのが楽しみです。

(スポーツコンサルティング会社 勤務)

## 親の想い

### 社会の中で居場所を見つけるために

音楽学部 演奏学科 ピアノコース  
1年 母 川野佳代

今年から選挙権が18歳に引き下げられ、先日、娘も初めて投票に行きました。車も運転するようになり、バイトでは働いて収入を得る大変さを知って、少しだけ大人になった様な気がします。

幼児科からヤマハに通い、幼稚園からクラブに入り、音楽とともに成長してきました。ピアノとマリンバを習っていましたが、高校1年生の時、色々悩んで、考えて、「ピアノが好きだからピアノで大学に行って、将来はピアノの先生になりたい!」と、進路を決めました。

入学してまだ数カ月ですが、大好きな音楽を良い環境で勉強でき、先生方や先輩方の演奏を聴いて刺激を受け、毎日とても充実しているようです。先日もピアノコンチェルトの演奏会を聴いて、グリーグのメロディーを歌いながら帰って来ました。そんな楽しそうな姿を見て本当に嬉しく思います。

名芸は私の母校でもあり、同じ授業を同じ先生にご指導いただいている事も多く、家でも時間が経つのも忘れて会話がはずみます。



最近では、幼稚園や保育園、サロンコンサートなど、娘と一緒に演奏させていただく機会も増え、娘の演奏を聴くのは自分が演奏するよりドキドキしますが、母娘で演奏できてとても幸せです。勉強はとくに苦手なのでテストは心配ですが、小学校から高校までの12年間皆勤したのが自慢の元気な娘です。

大好きな音楽も、これから苦しい事や壁にぶつかる時など何度もあると思いますが、友人をたくさん作り、持ち前の元気で毎日楽しく大学生活を送ってくれればと思います。

### 自分の選択で自分を創って

デザイン学部 デザイン学科  
1年 母 伊藤文字

小さな頃からおとなしく、お絵描きやかわいい雑貨が好きな娘でしたが、高校進学で普通科を薦める担任に逆らってまでも、芸術コースの高校を選んだ時には少し驚きました。

高校での創作活動は、やがて芸術系の大学を強く希望する三年間になったようです。一緒に美術館などへ行っても、以前は通り過ぎていたような作品の前でも長々と足を止めたり、素材や技法の簡単な説明をしてくれたりと、素人の私より少しずつ作家側の立場に寄っていった気がしました。

今春からお世話になっている名芸は全く未知の世界でしたが、娘は多くの新鮮な報告をしてくれます。新入生へのプレゼンで感動したサークルがあったこと、新たに出会った様々な友人・先輩・教授の話、思うように仕上がりながら課題作品の話等々。ある日は「キャンパスに馬が!人が馬に乗って絵を描いてる!」と写メも、『ウマク

ション』というOB作品だったと翌日の朝刊で納得(?)しましたが…。

そのような刺激を受けたり課題に悩んだりしている娘の様子を間近で見られるのは、親として嬉しく楽しみでもあります。

前期を終えた今、今後のコース選択に迷いもあるようですが、自分の選ぶことで自分を創っていけるように、悩みを積み重ねながらも前進していった欲しいと思っています。



# 子の想い

## 「感謝」

美術学部 アートクリエイターコース  
ガラスクラス 2年 吉長佑衣

私のガラスの時間は朝早くから始まり、夜遅くまで続きます。

ガラスクラスは一週間の授業外で吹きガラスの練習とアシスタントを各二回ずつ行う時間があります。

朝は各駅停車の電車が少ないので七時前に大学に到着し工房にてガラスを温めるグローリーホールを点火、道具などの準備をします。そして約一時間後グローリーが最適な温度に温まり吹きガラスの練習、アシスタント作業が始まります。日中は主に講義や課題の制作のあとに夜も同様に練習、アシスタント作業に入り、八時半から作業を終了し一日の片づけをします。

ガラスが好きで、ガラスを学ぶ為に名芸に入学をしました。いくら好きなことでもハードなスケジュールをこなす日々は想像以上に大変でした。それでも頑張ってきたのは母の支えでした。



母は朝が早くても朝食を持たせて「いってらっしゃい」と言ってくれます。夜は片付けが長引いてどんなに遅くなっても「おかえり」と待っていてくれます。それが本当に嬉しくていつも感謝しきれない気持ちでいっぱいです。吹きガラスを始めて日が浅いですが上手くできた器を見てもらい上達を喜んでもらうことが今できる自分なりの精一杯のお礼です。

卒業まで一回一回でのガラスの時間を大切に、さらに吹きガラスの腕を磨きたいです。

## 名芸への想い

デザイン学部 デザイン学科  
1年 廣川舞香

私は小さい頃からいつも暇さえあれば絵ばかり描いていました。特に空想上の動物やモンスターなどを自分で考えて絵にすることが大好きで、またその描いた絵をほめられるのがとても嬉しかったことをよく覚えています。

しかし私は元々名芸に来たいと思っていたわけではありませんでした。高校は福祉系に力を入れているところだったので、自然とそのまま福祉系の道を歩もうか迷っていたところ、ふと名芸のことを思い出しました。

実は中学生の時に2回、一日芸大生として名芸に来ていたのです。その時の一日芸大生の体験はとても楽しく、先輩や先生も優しげに接して下さったことを思い出しました。

進路に迷っていた私は、1月のレビュー展を見学することにしました。そこで見た先輩たちの作品は想像を超えて、独創的で個性的なものがたくさん並んでいま

た。元々絵を描くのは好きだったので、その作品の数々に惹かれない筈がありませんでした。私もこの大学に入って、たくさん自分の絵を描きたいと思いました。

クラスの皆が福祉に進む中、私だけ全く種類の異なる分野に行くのは不安もありました。

しかし、家族は「自分の進みたい道に進めば良い」と言ってくれたので、決心ができました。AO入試を8月に受け、無事合格することが出来たときは、「これで私も名芸大に入れるんだ!」と、とても嬉しく思いました。

現在まだ芸大生としての生活は始まったばかりですが、ファンデーションの授業や大学生の日常生活などにまだまだ新鮮なことが多く、毎日驚いてばかりです。同級生たちも私では考えつかないような奇抜な発想をしたり、意見を交わす中で勉強になる場面もあります。

私は絵をたくさん描くことができるイラストレーションコースに進みたいと考えていますが、ファンデーションの授業の中で変わっていくかもしれません。まだ期間は長いので、ゆっくりじっくり楽しみながら考えていきたいと思っています。

## University of Brighton Graduate Show

### ブライトン大学

### グラディエイトショー(卒展) 報告

後援会長  
山田 貢

名古屋芸術大学の姉妹校であるブライトン大学に6月2日～4日の間 訪問しました。ブライトン大学とは名古屋芸術大学と今年で20年となる歴史のある交流があり、学生数2万人、スタッフ2千人、また多くの学部で構成されています。今回、後援会長として美術学部の卒展となるグラディエイトショーに、名古屋芸術大学後援会長賞授与のため、審査と授与の名誉ある出張をさせて頂きました。

ブライトンはイギリス南部の海岸沿いにあり、週末になると観光客が多く訪れるリゾート地です。自宅を出てブライトンに着くまでは乗り継ぎ等で24時間かかりましたが、現地に着いた午後9時頃まで明るい夜には驚きました。

審査は6月2日、美術学部須田真弘教授、デザイン学部駒井貞治准教授、国際交流センターの藤下麻香さん、イギリス在住の河野英一先生(フォントのメイリオの開発者)と山田の5名で実施しました。

説明は作者ではなく、教員が英語でされ、私には英語を理解できる

語力がないので、作品を見てスケッチしながら、誰のどんな作品だったかの特徴を記録しながら、ノミネートの19コース48作品を見て回りました。

作品の中には、作品をつくる過程での膨大な資料を見てよく研究していると感じました。またとてもユニークな考え方の作品、驚くようなパフォーマンスや 私には理解できない作品がありました。



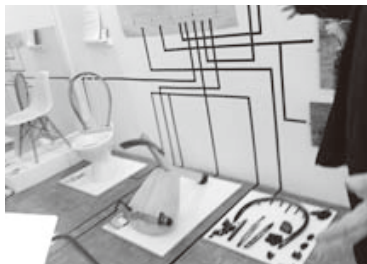
ブライトンの街並み



ブライトンでのミーティング



ブライトン大学



**第1位のグランプリ作品：**

**デザイン&クラフト**

椅子に対して研究/分類しユニークなデザイン作品(スコップ、便器など)



**第2位の優秀賞作品：**

**テキスタイル/ビジネススタディ**

膨大な資料の収集による研究・そこから選択した織物・布地の提言



**第3位の奨励**

**賞作品：**

**アート プリン**

**トメーキング**

(版画)

野原で銅板を引きずり、仕上げたユニークな発想豊かな版画作品



◀表彰式

▼約200人の聴衆を前にスピーチ

3日には大学に招待された多くの方と一緒に会食をし、4日の卒展授賞式では、大学と関係のある19組からの表彰と、最後に名古屋芸術大学後援会長として会長賞の授与をしました。今回、ブライトン大学での卒展に参加し思ったことは、作品に感心をよせた、多くの保護者などの方が、見に来られて賑わっていたことに感心させられました。また学生が表彰を受け、とても喜ばれていたことに、遠くイギリスまで行ってのやりがいと喜びを感じました。

最後に、私の人生の中で貴重な体験をさせて頂いた感謝すると共に、今後も20年続いたブライトン大学との交流がますます深まり、いつまでも続くよう祈念しております。



後援会長 山田貢



# CONCERT GUIDE

2016年度 名古屋芸術大学音楽学部 演奏会案内

## 8 August

### 第18回ピアノサマーコンサート

日 時/2016年8月9日(火) 16:00開演予定  
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール  
入 場 料/無料(全自由席)

## 9 September

### ウィンドオーケストラ第35回定期演奏会

指 揮/ヤン・ヴァン デル ロースト  
竹内 雅一

日 時/2016年9月23日(金) 18:45開演予定  
会 場/愛知県芸術劇場コンサートホール  
入 場 料/500円(全自由席)

## 10 October

### あいちトリエンナーレ2016

#### ショ・ビヅ 祝に乾杯! 2016 ~Wind & Musical~

日 時/2016年10月2日(日) 18:30開演予定  
会 場/愛知県芸術劇場大ホール  
入 場 料/一般2,000円・高校生以下1,500円

### 研究生特別演奏会

日 時/2016年10月22日(土) 14:00開演予定  
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール  
入 場 料/無料(全自由席)

## 11 November

### 室内楽のタベ 2016

日 時/2016年11月8日(火) 18:00開演予定  
会 場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入 場 料/無料(全自由席)

### 音楽学部第39回定期演奏会

日 時/2016年11月17日(木) 18:00開演予定  
会 場/三井住友海上 しらかわホール  
入 場 料/無料(全自由席) 整理券あり

### オーケストラ第34回定期演奏会

指 揮/古谷 誠一

日 時/2016年11月25日(金) 18:45開演予定  
会 場/愛知県芸術劇場コンサートホール  
入 場 料/500円(全自由席)

## 12 December

### 室内楽のタベ 2016 (大編成の部)

日 時/2016年12月6日(火) 18:30開演予定  
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール  
入 場 料/無料(全自由席)

### 「Earth Echo」電子オルガンコース

#### 第19回定期演奏会

日 時/2016年12月8日(木) 18:30開演予定  
会 場/熱田文化小劇場  
入 場 料/無料(全自由席)

## 1 January

### アンサンブル・フィラルモニク・ア・ヴァン

#### 第18回定期演奏会

指 揮/ヤン・ヴァン デル ロースト

小野川 昭博

日 時/2017年1月15日(日) 開演時間未定  
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール  
入 場 料/無料(全自由席)

## 2 February

### 第15回 歌曲のタベ

日 時/2017年2月2日(木) 18:30開演予定  
会 場/熱田文化小劇場  
入 場 料/無料(全自由席)

### 研究生修了演奏会

日 時/2017年2月9日(木) 18:00開演予定  
会 場/熱田文化小劇場  
入 場 料/無料(全自由席)

### 大学院音楽研究科特別演奏会

日 時/2017年2月16日(木) 18:00開演予定  
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール  
入 場 料/無料(全自由席)

### Kaleidoscope2017

日 時/2017年2月18日(土) 16:00開演予定  
会 場/名古屋芸術大学音楽学部2号館  
入 場 料/無料(全自由席)

### ピアノのしらべ 第21回 春のコンサート

日 時/2017年2月22日(木) 17:30開演予定  
会 場/熱田文化小劇場  
入 場 料/無料(全自由席)

### オペラ公演「魔笛」

日 時/2017年2月25日(土) 開演時間未定  
会 場/西文化小劇場  
入 場 料/未定

日 時/2017年2月26日(日) 開演時間未定  
会 場/西文化小劇場  
入 場 料/未定

## 3 March

### ミュージカル公演

日 時/2017年3月2日(木) 開演時間未定  
会 場/アートピアホール  
入 場 料/未定

### 第19回大学院音楽研究科修了演奏会

日 時/2017年3月3日(金) 18:00開演予定  
会 場/三井住友海上 しらかわホール  
入 場 料/無料(全自由席) 整理券あり

### 第44回卒業演奏会

日 時/2017年3月9日(木) 17:00開演予定  
会 場/三井住友海上 しらかわホール  
入 場 料/無料(全自由席) 整理券あり

### ジャズポップスコース卒業演奏会

日 時/2017年3月11日(土) 開演時間未定  
会 場/名古屋芸術大学音楽学部3号館ホール  
入 場 料/無料(全自由席)

※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。

【お問い合わせ】名古屋芸術大学音楽学部演奏課

■〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281

■Tel 0568-24-5141

## クラブ・同好会紹介 (東キャンパス)

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	ジャズ研究会	セッションを通じ、自分たちで思考し音楽を創り研究をすることで音楽への理解を深める。また、音楽だけではなく、曲を創り上げていくうえで、メンバーとコミュニケーションを深める。
2	Jampa Swing Orchestra	日々のトレーニングから楽器のスキルアップを図り、その結果として定期的なライブ活動を行なう。また、団体行動を通して協調性、社会的モラル、マナーなどを身につけ、心身・技術ともに向上することを目的とする。
3	フットサル部	週1回身体を動かすことで著しい体力の低下を防ぐとともに、フットサルの楽しさを皆で共有する。先輩後輩が交流を持つことで学生生活がさらに楽しくなるようにする。言葉遣いなど、社会にでてからも役立つことを学んでいく。
4	フラワーショットテニスクラブ	週に1～2回ほど集まって運動不足を解消する。
5	ミュージックボランティア	私たちは、音楽療法を使って高齢者施設や子どもの施設などの人たちを楽しませたり、病気を改善させたりすることを目的としています。
6	自然と暮らしを楽しむ会	自然物を使った工作や遊びを子どもと触れ合いながら伝えていくために自分達でロールプレイングをしたり、イベントにあわせて企画を考えるために、月4～6階程度集まり活動します。また、昨年同様ボランティア活動も進めていきたいと思ひます。
7	B・B・Z	経験の有無にかかわらず、男女混合でバスケットを通して身体を動かし、時にはルールの勉強をしたり、自分達で試合を運営できるように練習していく。サークルを通して上下関係を学び、仲間とよりいっそう仲を深める。
8	ルーディメンツクラブ	インターナショナルルーディメンツ、コンテンポラリー、ハイブリッドドラムルーディメンツ等のあくまでも基本形を習得し、個々に対してのより合理的な奏法を確立する事により、表現の幅を広げ音楽的自立を目指す。
9	和太鼓部	和太鼓という日本の伝統文化を伝えるとともに楽しさやすばらしさを観客と部員が味わう。子ども達など普段和太鼓にかかわらない人に和太鼓を教え楽しさを知ってもらう。
10	ワンダーフォーゲル	自然体験を行い自然の中で自主的な生活を営みつつ、心身を鍛錬し、語り合う。
11	ダンスサークル	ダンス活動を通して適度な運動をし、健康的な身体を作り上げること、様々な学年と創ることで考えることを共有し交流を深め大学祭などを名古屋芸術大学の一員として盛り上げることを目的とする。
12	リズム体操部	私達は創って、動いて、指導することを目的とし、体操教室などを開催し、地域との交流を誇っていきたくです。さらにフットの大会に出場し、他大学との交流を深めていきたくです。
13	中音部	教育や保育の現場でも扱われる音楽に触れ、部員が一丸となって楽しむことで人間関係の築き方や、他の人への感情共有について知る。他学部とのかかわりを深める。
14	冒険KID'S	岐阜県郡上市名宝の大自然の中で春夏秋冬を通し、小学生に自然と触れ合うことの楽しさを伝え、一緒に遊びながら楽しく安全にサポートスタッフとして務め、私たちが目指す将来に役立つ何かを学ぶ。
15	人間発達学部吹奏楽部 Noise band	子どもから大人まで、たくさんの人に吹奏楽の生の演奏をきいてもらって、音楽の楽しさを伝え、私達も音楽を楽しむより良い演奏をするために活動している。
16	自由工房	壁面構成や工作、クラフトを通して子ども達とかわりながら技術を高める。また、児童館や施設へボランティアへ行く。
17	EXIA'S	バレーボールを通して、スポーツのマナーや礼儀を学ぶとともに、運動習慣を付ける。バレーボールの技術を向上させ、学外の大会で活躍するため。
18	録音同好会	自主的に音楽・録音作品の制作。音響での経験を重ね業界で生きる力を蓄える。
19	女子スポ同好会	私達は体を動かし先輩後輩関係なく、一緒になってスポーツを楽しめるようにすることを活動目標とする。
20	ザ・ロブスターズ	スポーツを通じて交友関係を広め、個性の成長を図り、集団の一員として協力し合い身体的精神的に強い意思のある人間を育成する。
21	tiny*palette	ハンド明度を趣味にしている人や興味を持っている人を集めて一緒に作品を作り、完成品を展示・販売してたくさんの人にハンドメイドを知ってもらうことを目的にしています。またハンドメイダー同士で交流を深め技術の共有や向上を目指します。
22	Gleeクラブ	歌唱力・和声の向上。学校生活をよりよくするため。様々な活動を通していろいろな方向からの見方を知ってもらう。

# クラブ・同好会紹介 〈西キャンパス〉

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	テ ニ ス 部	テニスを通じて体力の向上をはかるとともに、北名古屋市の主催する大会などに参加して地域との交流を深める。
2	G O N C E ス キ ー 部	スキーやその他のスポーツを通して、充実した学生生活を送ることにより心身ともに成長する。
3	着 付 け 部	着付けを通して日本の文化を学び、着物の作法等、日常生活や将来に役立つような活動を目的とする。また、着付けでコミュニケーションをはかり、親睦を深める。
4	バ ト ミ ン ト ン 部	学年を超えて活動を共にすることで、上下関係、交友関係を広げる。週1〜2回の活動で健康的に体を鍛え、体力をつけることを目的とする。
5	サ ッ カ ー 部	サッカーを通じて他学年、他学部との交流を深める。大会で優勝するという目標をもって努力する。
6	動 画 漫 画 研 究 部	芸大祭の催し物で出店するアニメ・特撮の制作、またコミックマーケットに向けての漫画制作、その他ギャラリーのイラスト展示会など様々な制作活動における交流や創造力の向上を目的とする。
7	写 真 部	写真技術の向上と写真表現の研究、写真部員同士による写真と美術、デザインに対する関わりの研究を目的とする。
8	自 由 音 部	音楽を通じて仲間との交流を深める。また、クラブイベントという一つの目標に向かって日々努力し、成功させることにより、困難に立ち向かい壁を乗り越える力を養う。
9	軽 音 部	音楽を通じて違う学科の学生と交流を深め、大学生活を充実させることが目的。それぞれバンドを組み活動を行い、技術の上達、交流を深める。
10	陶 芸 部	自ら粘土を形成して陶磁器などを作ることにより、創作意欲を高め、それを自ら販売することで交流を深める。
11	サマータイムブルース(野球部)	社会人と野球をすることで社会との交流を深める。
12	版 画 部	版画コース以外の部員も工房を使い、展覧会の発表に向けて作品制作を行う。
13	バスケットボール部	週に2回バスケットを楽しむことで、主に試合形式でスポーツを楽しみます。
14	演 劇 部	芸大祭での演劇公演に向け柔軟体操、筋肉トレーニング、稽古に励む。
15	フ ォ ー ク ギ タ ー 部	音楽活動を通じて、様々な人と交流を図る。ライブ活動を行い、音楽の技能の向上を楽しみながら目指す。
16	ストリートダンス部	ダンスという全身を動かすスポーツにより、心身のリフレッシュ、また体力の増進を主な目的とする。芸大祭においては、ステージでの演技発表を目的とする。
17	映 像 研 究 部	ここ数年、表現の幅が拡大している映像メディア。それを通じて個人にどのような影響があり、社会にはどんな変化があるのかを研究する。又、この研究において映像制作を行う。
18	チ ェ ア ー ズ	子どもと遊びについて考え、子供に物づくりの楽しさを知ってもらうことを目的とする。
19	SweetCandyBoys&Girls	アウトドアな活動に積極的に取り組み、自然のありがたみを体で感じる。
20	ウインドサーフィン部	ウインドサーフィンの技術の習得、マリンスポーツを通じて自然に親しむ方法を身に付ける。仲間との親交を深める。
21	書 道 ア ー ト	書道や書道パフォーマンスの既存のイメージの枠を超え、ジャンルにとらわれない芸術を探索し、書道の新たな可能性を提示していく。書道や書道パフォーマンスの既存のイメージの枠を超え、ジャンルにとらわれない芸術を探索し、書道の新たな可能性を提示していく。
22	ワンダーフォーゲル部	自然とふれあいを通して仲間との絆を深め、また協力することによって達成感を味わう。行く先々で出会う自然の風景のスケッチや写真撮影を行い、非日常的な体験を通じて感性を磨く。積極的に清掃山行にも参加し自然への理解を深め、自然災害に対する知識を身につける。
23	サバイバルゲーム愛好会	サバイバルゲームというスポーツの認知度を高め、その楽しさを研究していき、多くの人と人脈を広げる。

# TOPICS *pick up*

## 音楽学部

### マルチェッラ・レアーレ氏(本学特別客員教授)の声楽公開講座が行われました

2015年5月28日(木)、本学東キャンパス2号館の中アンサンブル室において、マルチェッラ・レアーレ氏(本学特別客員教授)の指導による声楽公開講座が開催されました。

この公開講座は、本学音楽学部演奏学科声楽コースの主催によるもので、声楽コースの学生および院生が課題曲の演奏に関してレアーレ氏から直接指導を受け、その様子が公開されました。

講座の開始に先立ち、声楽コース長の土佐誠教授より講師の紹介を兼ねた挨拶がありました。

「マルチェッラ・レアーレ氏は、米国でイタリア人の両親の下に生まれ、15歳で『ラ・ボエーム』のミミ役でデビュー。その後世界の劇場で主役を務め、レパートリーは50作以上です。中でも、蝶々夫人とトスカは300回以上演じています。1970年、イタリアで最高のプッチーニ・オペラのプリマ・ドンナに贈られる「黄金のプッチーニ賞」をアメリカ人として初めて受賞。また、1991年には、「マリオ・デル・モナコ賞」を受賞。1994年からは日本に定住して昭和音大、東京芸大、国立音大など各地の音楽大学で指導に当たるとともに、新国立劇場でもコーディネーターを務めるなど、日本のオペラ振興に多大な貢献をされています。

言葉は五カ国語(英・伊・仏・独・露)を話されますが、なぜか日本語だけはあまりお話しされません。本日のレッスンはイタリア語と英語で行われ、通訳とピアノ伴奏は、本学卒業生の寺元智恵さんが担当します。」

この後、早速レッスンに入りました。最初に、学生たちが自分の課題曲を一通り歌うところからスタートしました。歌い終わった後で、レアーレ先生が感想を述べるとともに講評をして、次からは、短い小節ごとに具体的に指導していくというスタイルで行われました。

発声の仕方や歌い方の指導だけではなく、曲の内容を理解したうえで、その情景を想像して身体で表現する演技の指導も行われました。

最初にレッスンを受けた山内由香さん(3年生)のP.マスカーニ作曲の『友人フリッツ』より“わずかな花を”では、歩き方や、花に見せかけたハンカチの持ち方など、細かいゼスチャーも指導されました。山内さんには「とてもすばらしい歌声ですね」とお褒めの言葉もありました。

このようにして、前半に学部生3名が、休憩を挟んで、後半は院生3名が指導を受けました。



講座の開始前に本日出演する学生に話をする  
マルチェッラ・レアーレ氏(右端)



花に見立てたハンカチを持って熱唱する  
山内由香さん、右はマルチェッラ・レアーレ氏



会場の様子、熱心に聴講する皆さん

## 美術学部

### 「あいちトリエンナーレ2016」参加アーティスト、 ジョアン・モデ氏が来日!

### 本学学生たちと作品制作ワークショップ を行いました

2016年2月19日(金)、あいちトリエンナーレ2016参加アーティストのジョアン・モデ氏が、今夏の本展で展開する「NETプロジェクト」を、本学西キャンパスで学生たちと共に行いました。

この「NETプロジェクト」は、モデ氏が2001年からブラジルのリオで始めたプロジェクトで、広く一般市民から参加者を募り、さまざまな素材と色の紐を結びつけてネットを張り、形作っていくものです。

当日は、美術学部とデザイン学部のいろいろなコースから14名の学生が参加しました。

まず、モデ氏からこのプロジェクトの主旨について説明がありました。『NETプロジェクトは、いろいろな紐を結びつけてネットを張っていくものですが、結び目は単にモノではなく、人々の人生の中の節目になると思っています。』



「NETプロジェクト」の主旨について語る  
ジョアン・モデ氏(中央)



だから、スタジオから外に出て大勢の人でやるプロジェクトとしました。参加者たちが作品を通してお互いに結びつき、繋がることを目指しています。特定の人ではなく、あらゆる人たちが作品作りに参加できる、その多様性がこのプロジェクトの特徴です。今日は、本番の元となる基盤を作ります。本番では多くの人に参加してもらってさらに大きくネットを張ります。今日皆さんが作った結び目を本番で見つけることが出来るかも知れません。日本の公共の場で行うのは初めてですが、その場の環境でネットの形は異なることになりました』とお話でした。また、モデ氏は、これまでの「NETプロジェクト」の作品など、自身の作品集2冊を持参し紹介してくださいました。

この後は、早速、ネット作りの作業に入りました。2月8日に行われた1回目のワークショップで試作されていたネットの、四方の端を周りの木に結びつけ、ネットを広げて参加者が自由に紐を結んでいきました。

モデ氏も作業に加わり、みんなで和気あいあいの中でネットを大きくしていきました。

こうして、今夏の本展で使用するネットが出来上がり、ワークショップを終了しました。

<ジョアン・モデ氏プロフィール>

1961年レゼンデ(ブラジル)生まれ、リオデジャネイロ(ブラジル)拠点。

モデ氏の作品は、素材を集積すること、広く一般市民からの積極的な参加に、その多くを委ねている。鑑賞者たちは動きのある作品に立ち寄り、参加することで、ゆったりとした時間へと誘われる。さまざまな素材と色の紐を結びつけていく「NET project」もまた、アーティストの手から離れて、あらゆる参加者の手によって生き物のように育っていく。これまでにサンパウロ、ベルリン、シュトゥットガルト、レンヌなど世界各地の町に設置され、あいちトリエンナーレ2016でも実施予定。(あいちトリエンナーレ2016公式Webサイトより抜粋)



ネットに紐を結んで準備をするモデ氏と学生たち



作業が進んで次第に大きくなってきたネット

## デザイン学部

### デザイン学部受託研究「防災体験会用ゲームのデザインと制作」 最終プレゼン&引き渡し会を行いました

デザイン学部メディアコミュニケーションデザインコースでは、2年生の実技の授業で、受託研究「防災体験会用ゲームのデザインと制作」を実施しました。この受託研究は、特定非営利活動法人 高齢者住まいの研究会 より依頼があり、同法人が主催している防災ゲーム体験会で使用する参加型コミュニケーション啓発ゲーム3種類について、耐久性及びデザイン性の向上を図るためデザインの改良と制作を行うものです。参加型コミュニケーション啓発ゲームの3種類とは、「防災ビンゴ」、「防災すごろく」、「防災ビジュアル絵本」です。学生たちはチームに分かれ、各ゲームごとに制作を進めました。学生はこれを完成させることで後期のプロジェクト課題の実績として評価されます。

去る2016年1月22日(金)に中間発表会が実施され、同法人理事長の寺西貞昭様よりアドバイスをいただきました。中間発表会の様子はこちら <http://www.nua.ac.jp/headline/13810.html>

2月26日(金)、寺西様と、愛知県防災まちづくりアドバイザーの中島壮太郎様をお招きして、最終プレゼン&ゲームの引き渡し会を行いました。中間発表会で寺西様からいただいたご意見を参考に、各チームが完成品を提示して、使用方法、新たに取り入れたアイデア、デザイン性、耐久性についてプレゼンを行いました。

防災すごろくのチームでは、盤面に名古屋や一宮に関わるイラストを散りばめ、親しみやすいデザインとしました。名古屋城、テレビ塔、新幹線、名鉄電車、138タワーなど、目で見て楽しむことができます。盤面は、薄手の塩化ビニール素材へのプリントを外注し、耐久性を向上させました。コマやサイコロは安全面に配慮し、角を削ったり、素材を工夫しました。前回の課題であった収納についても、手作りのケースにコンパクトに収まるようにしています。

防災ビンゴのチームでは、ゲームに参加する対象年齢を3歳からと設定し、素材や親しみやすいデザインを工夫しました。ビンゴで使用するパネルは、踏んだり曲げたりしても劣化しにくい素材で耐久性を高め、クマをモチーフにした



防災すごろくプレゼンの様子



防災ビンゴ完成品



防災ビジュアル絵本  
プレゼンの様子



防災ビジュアル絵本  
プレゼンの様子

キャラクターでデザイン性を高めていました。その名も「備っくマ」。また、このゲームはビンゴとして使用するだけでなく、解説カードとパネルを使用して、カルタや神経衰弱もできるように改良しました。楽しみながら防災について学べるよう、ルールを設定しています。2m四方の巨大な盤面は、キャンパス地を使用し耐久性を向上させ、型どりの足跡を手作業でペイントして参加者の立ち位置を分かりやすくする工夫をしました。

防災ビジュアル絵本のチームでは、「どうしよう」、「いまやろう」、「これなーに」、「グラっときたら」の4つのテーマを元に、4冊の絵本を制作しました。それぞれが対象年齢を設定し、各対象に合った解説や飛び出す仕掛け等で工夫していました。「NPO」のアルファベットを元にした女の子のキャラクターで親しみやすさやデザイン性を高めました。地震の音が出る仕掛け、家族会議をする一家が飛び出す仕掛け、ページ内のトビラを捲って読む解説など、各ページに必ず仕掛けがあり、読み手が興味を持って防災について学ぶことができます。

プレゼン後、以下のコメントがありました。

- ・同コース教授の榎田珠実先生／「身近ではなかった防災をこのように学ぶ機会があり私も勉強になりました。半年近くかかりましたが、学生たちと本を読んだり、アイデアを工夫したり、自分たちの中に落とし込んで作業していくことによって学生たちが大きく成長してくれました。」
- ・同コース講師の臼井拓朗先生／「初めてのグループワークで得たものは大きいと感じていることでしょう。この経験が今後必ず生きてきます。」
- ・同コース2年生 安藤万由子さん（防災すごろくの制作者）／「いままで個人でデザイン案を考えたりすることはあったが、グループワークは初めてでした。このような機会があり、防災を身近に捉えることができ、とても勉強になりました。ありがとうございました。」
- ・同法人の寺西様／「大学のみなさんと知りあえて、素晴らしい物を一緒に作りあげることができて本当に嬉しです。みなさんが大変な努力をしてくれたことは、作品を見ればわかります。このゲームや絵本を活用して地域の方や子どもたちに防災を学んでもらいます。この作品を広めて、ひとりでも多くの命を救いたいです。」

寺西様のコメントをいただいたあと、大きな拍手があり最終プレゼン&引き渡し会を終了しました。今回制作されたゲームや絵本は、防災の知識を広めるツールとして同法人主催のイベントで使用されたり、教育機関などのイベントで貸し出されます。また、最終プレゼンに先駆けて2月20日（土）に東京で開催された「防災教育チャレンジプラン」では、今回制作した「防災すごろく」が紹介されました。



今回の受託研究を担当した  
メディアコミュニケーションデザインコースの  
学生たちと、委託者の寺西様写真上、左から2番

## 人間発達学部

### 人間発達学部特別公開講座「世界とつながって教育のあり方を考える －韓国の教育の現状とミラル・トゥレ学校」が開催されました

2016年1月21日（木）、本学東キャンパス1号館で、人間発達学部主催の「世界とつながって教育のあり方を考える－韓国の教育の現状とミラル・トゥレ学校」が、午後には学生向け特別授業として、夜には一般参加者向けの特別公開講座として開催されました。

初めに、この公開講座を企画した人間発達学部の鎌倉博准教授より、開講の主旨や講師との関わりまた講師の紹介などがありました。「わが国以上受験競争が厳しいと云われる韓国にあって、1学級を少人数にしたアットホームな教室、愛を育む情操教育、自然豊かな立地環境を生かした教育、子どもの自治と自国・世界の文化を大切にする教育を進めている学校があります。それがソウル市近郊にあるミラル・トゥレ学校です。日本・中国・モンゴルと、次々と国境を越えた学校間交流も実現させ、子ども同士の交流・教育文化交流の架け橋となっています。その学校を立ち上げたチョン校長をお迎えして、韓国で行われている教育の姿、新たな学校を立ち上げた経緯、なぜ、今韓国で話題になっているかなどをお話いただき、これからの教育のあり方を考える機会にしたいと考えています。私とチョン校長とは私の前職時代からの知り合いで、その関係で今回本学にお招きしました」。

続いて、人間発達学部長星野英五教授より挨拶があり、講座がスタートしました。

講座では、最初にチョン校長から自己紹介とミラル・トゥレ学校設立の理由についてお話がありました。

「私はソウルの大学を卒業後、公立、私立の小学校に15年間勤めましたが、子どもたちがあまり幸せではないと感じていました。そこで、新しい学校を作ろうと決心して世界各国の学校を視て回り、2003年、東京の和光小学校を視て感動しました。そのときに鎌倉先生とお会いし、先生とはそのときからの友人です。私の作った学校は小1から高3まで260人の小さな学校ですが、今、韓国の教育は“危機”にあると思っています。誰かが、モデルとして学校教育の見本を作る必要があると考え、退職して、ミラル・トゥレ学校という小さな学校を作りました」と話されました。

この後、学校の様子を映像で映しながら説明されました。バス停から森を抜けて学校に入る周辺の豊かな自然環境、

建物の様子や授業風景、そして、教育の目標と学校の仕組みや実情について詳しく説明していただきました。具体的には、「子どもたちが直接触れたり体験することをめざした教育をしています。学校を一つの町として位置づけて、町としての機能を持たせてあります。例えば、学校で流通しているお金があり、子どもたちはお金を稼ぐことも出来るし、そのお金で買い物や貯金、寄付なども出来ます。クラスの編成は、1年から12年までの生徒を縦割りにして14組に分けています。このクラスを「ミラル兄弟」と言い、年に1回クラスで旅行に行きます。旅行先・宿舎・食べ物など全て子どもたちが決めます。この旅行で子供同士が仲良くなって本当の兄弟のようになります。

2006年度からは毎年日中韓の3カ国に行ってホームステイしながら交流しています。2007年に初めて3カ国が沖縄に集まり、戦跡巡りをして戦争の悲惨さを学び平和の交流をしました。3カ国の子どもたちの交流は、大人たちの世界にも影響を与えたかもしれません。私は、各国の教育のあり方を変えるという目標で学校を運営しています」。

この後は、ご本人の夢と教育論についてのお話でした。

「私は韓国教育を変えたいと願っています。また、その運動に携わりたいと思っています。ミラル・トゥレ学校の運営も大切ですが、このような学校が全国に出来るような運動をやりたいと思っています。生涯のうちに6つの学校を作りたい。現在、中国に1つ新しい学校が出来ていて、今年3月にはもう1つ増える予定です。また、2017年にはソウルから30分のところにも出来る予定なので、これで4つとなります。夢(目標)は一人で見ているだけでは実現しませんが、同じ夢をたくさんの人が持てば現実となります。1995年に新しい学校作りの夢を見ましたが、一人の夢で遠い夢でした。しかし、同じ夢を持った人が5人集まったときに現実となりました。同じ夢を持つ人が集まるのが大切です。今、韓国教育全体を私たちの力で変えていくことを夢見ています。必ずかなうと確信しています。教育の目標に対する考え方は、東洋では、正しい経験をさせてやさしい人を作ることであり、西洋では、神様から与えられた才能をどうやって使うかが中心となっています。

そこで、私のミラル・トゥレ学校では、小学校では人格教育に力を入れて、良い子どもをつくることに、中学・高校では、持っている才能を引き出すことに力を入れています。私は、教育とは人を変えること、変化させることだと思っています。それは外からの圧力で変える事は出来ません。人を変化させる力は内面にあります。心の内側から変わっていきたいという意味が必要なのです。強制的に何かをさせることは意味がありません。自分も出来るということを感じさせることが大切です。教育にとって大切なことは、自分はどんな人間か、この世でやる価値は何か、どんな価値観を目指すのか、これらを日常生活を通して生徒たちに感じさせることで、これが教師の仕事です。生徒たちの胸を熱くさせることが教師の役割なのです。

教育の目標は4つあります。1つは、知的な成長。2つ目は、社会的な成長。3つ目は、身体的な成長。4つ目は、霊的な成長です。4つの要素は有機的に関連していますが、最も大切なのは、④の霊的な成長(注:日本では「人間の内なる成長」「夢・希望・意欲をもった生き方」に当たると考えられる)です。④の霊的な成長すなわち、人生をどのように生きていくか、自分の夢や目標がどこにあるかを悟った人は、①の知的な成長と②の社会的な成長が同時に進行します。目標がはっきりしているから勉強もする、こういう人は自分ひとりでは無く、いっしょに生きて行くことも大切にします。丈夫な身体に健全な精神が宿ります。③は④の基盤であり、④は①と②の基盤となります」。

最後に、韓国教育の危機に関して問題点を具体的に列挙しながら、これからどんな学校を作りたいかについてのお話がありました。

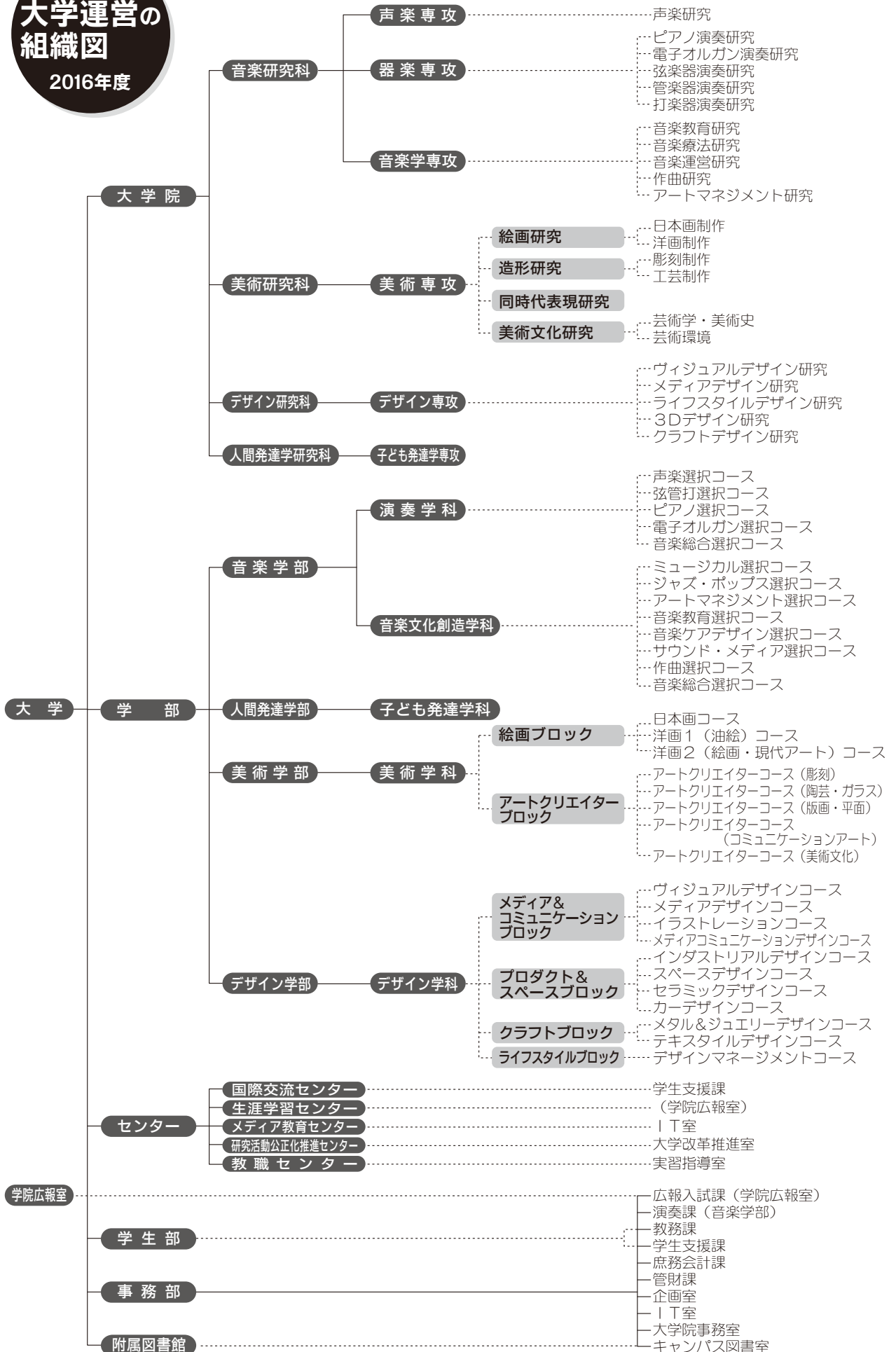
「韓国の教育が危機的な状況にあるのは、2つの理由があります。1つは、家庭の問題です。離婚率の上昇もあって、家族が忙しくて顔を合わせる時間も無く、夕飯も一緒に食べないなど家庭としての機能が崩壊していることです。子どもたちは愛と励ましを親から受けることが必要であり、これが無ければ心と身体のバランスが崩れます。2つ目は、学校らしくない学校が増えたことです。今の韓国の教育は大学入試に偏っていて、良い大学に入ることが良いことという価値観となっています。学校生活には2つの喜びが必要です。知的な好奇心が得られること、人との付き合いの楽しさが分かることです。このように、韓国の教育は危機ではありますが、私はこれをチャンスとして捉えています。危機の原因を知ることによってチャンスとなるのです。私は、子どもたちが夏休みや冬休みを減らしてほしいというような学校を作りたい。学校に来ることが楽しい学校を作りたい。また、親たちに、幸せな家庭が教育の基本になることを教えたいと思っています」という言葉で講座を締めくくられました。

この後、ミラル・トゥレ学校と一緒に教鞭をとっている4人の先生方が紹介され、「ミラル・トゥレ学校で勤務している理由など」について、それぞれご自身の考えを発表しました。また、会場の聴講者からのいくつか質問を受けて特別公開講座を終了しました。



## 大学運営の組織図

2016年度



# 名古屋芸術大学・大学院後援会会則

第1条 本会は名古屋芸術大学・大学院後援会（以下「本会」という）と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。

第2条 本会は名古屋芸術大学・大学院の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。

第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
- (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
- (3) その他本会の目的達成に必要なと認める事業。

第4条 本会は名古屋芸術大学・大学院学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。

第5条 本会に次の役員をおく。

- (1) 会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名

第6条 本会の役員選出は次の方法による。

- (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
- (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。
- (3) 役員任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。

第7条 本会役員の仕事は次のとおりとする。

- (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時はその代理をする。
- (2) 監事は会務を監査する。
- (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。

第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。

第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。

第10条 総会は次の事項を審議・決定する。

- (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関する事。
- (2) 会則の改定、会の解散に関する事。
- (3) 役員を選出、その他の役員が必要と認めた事項。

第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。

第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。

第13条 本会にその目的を達成するために次の委員会をおく。

- (1) 総務委員会
- (2) 事業委員会
- (3) 広報委員会

第14条 委員会に、委員長1名、副委員長2名および委員若干名をおく。

- 2 委員長は副会長が兼務し、副委員長及び委員は委員会の同意を得て会長が指名する。

第15条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。

第16条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。大学院生は年額10,000円とする。

第17条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。

第18条 本会則の運営に必要な事項は、役員会の議を経て会長が定める。

- 附則
- 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
  - 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。
  - 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。
  - 4 本改正会則は平成25年5月19日から実施する。
  - 5 本改正会則は平成26年5月18日から実施する。

## 名古屋芸術大学・大学院後援会 弔意に関する内規

1. 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金1万円を給付する。
2. 保護者（父・母）が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金5,000円を給付する。
3. 役員2親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として5,000円を給付する。
4. 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
5. この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。

附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

附則2. この改正内規は、平成18年6月1日より施行する。

## 名古屋芸術大学・大学院後援会 顧問の委嘱に関する内規

1. 名古屋芸術大学・大学院の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
2. 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
3. この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は平成17年4月1日から適用する。

# 学校法人名古屋自由学院決算報告

## 平成27年度 事業活動収支計算書

(単位：千円 切り捨て)

科 目	26 年 度	27 年 度	前年度比較
<b>【事業活動収入】</b>			
学生生徒等納付金	3,322,113	3,217,907	△104,206
補助金	259,402	311,849	52,447
その他	282,706	382,473	99,773
A基本組入前事業活動金収入計	3,864,216	3,912,229	48,013
基本金組入額	0	0	0
B事業活動収入計	3,864,216	3,912,229	48,013
<b>【事業活動支出】</b>			
人件費	2,495,067	2,585,469	90,402
教育研究経費	1,312,710	1,173,253	△139,457
管理経費	455,755	441,417	△14,338
その他	9,746	1,569	△8,177
C事業活動支出計	4,273,280	4,201,709	△71,571
A-C基本金組入前当年度収支差額	△409,063	△289,479	119,584
B-C当年度収支差額	△409,063	△289,479	119,584
基本金取崩額	883,713	162,817	△720,896

事業活動収入は、学納金収入は減少したものの補助金収入等が前年度を上回り、事業活動収入計は39億1,222万円（前年度比4,801万円増加）となりました。基本金組入額は、取崩額が上回ったため今年度はありませんでした。  
 事業活動支出は、人件費25億8,546万円、教育研究経費11億7,325万円、管理経費4億4,141万円、事業活動支出計は42億170万円（前年度比7,157万円減少）となりました。  
 当年度収支差額は2億8,948万円の支出超過となりました。

## 平成27年度 貸借対照表

(単位：千円 切り捨て)

科 目	27年3月31日現在	28年3月31日現在	前年度比較
<b>【資産の部】</b>			
固定資産	16,209,809	15,956,587	△253,222
流動資産	1,857,092	1,937,012	79,920
資産の部合計	18,066,901	17,893,600	△173,301
<b>【負債・基本金・消費収支差額の部】</b>			
固定負債	1,266,738	1,263,629	△3,109
流動負債	806,862	926,148	119,286
負債の部合計	2,073,600	2,189,778	116,178
基本金	19,487,509	19,324,692	△162,817
翌年度繰越収支差額	△3,494,208	△3,620,871	△126,663
負債及び純資産の部合計	18,066,901	17,893,600	△173,301

資産の部合計は178億9,360万円（前年度比1億7,330万円減少）、負債の部合計は21億8,977万円（前年度比1億1,617万円増加）、基本金は193億2,469万円（前年度比1億6,281万円減少）、翌年度繰越収支差額は36億2,087万円の支出超過となりました。

※詳細は、名古屋芸術大学ホームページをご覧ください。

## 「せせらぎ合唱団」団員募集

この「せせらぎ合唱団」は、今から17年前から名古屋芸術大学の後援会の有志から、「歌を皆で歌おう」とスタートしたコーラスサークルです。毎月第三土曜日の午後1時から1時間半まで、音楽学部の4号館の3階のオペラ教室をお借りして、大学の江端智哉先生と山田正丈先生と交互に指導していただいています。初めての方でも発声練習を通して声の出し方を教えていただき、各パートの人と声をあわせて全体で一つのメロディーを作り上げる楽しさを体験しています。これまで、発声練習をかねて、中学時代に歌ったことのある「植生の宿」とか「夢路より」をメロディーだけで歌っています。現在会員は10名位ですが、NHKの朝ドラの主題歌である「365日の紙飛行機」をパート練習しています。毎月1回の練習日ですので、覚えても次回には忘れていた所もありますが、少しずつ歌える所がふえてくる気がしています。

声を出すことは、健康面はもちろんのこと、他の人と声をそろえて一つの音を重ねることで感情的にも気分がリフレッシュする効果があるのではないかと思います。こうした楽しみをぜひとも後援会の皆様にも知っていただき、入会していただけるようにご案内する次第です。次回の練習日は10月22日(木)です。ぜひとも友達を誘って来てくださることを切望します。会費は月額1000円です。

### 〈問い合わせ先〉

会 長 長江 政則  
〒480-1214 瀬戸市上品野927  
電話：0561-41-1655 携帯：080-3621-7706  
副会 長 千石 智子  
〒488-0863 尾張旭市城前町上大道4084-6  
電話：0561-53-4222 携帯：090-8469-4324



## 絵画グループ 壁の華 会員募集

この「壁の華」は、名古屋芸術大学後援会の有志によって、「絵を描いて楽しもう」と、の意気込みで生まれた絵画グループであります。毎月、名芸大の教室で、大学の先生方による懇切丁寧なご指導を頂いているとても素晴らしい絵画グループであります。毎年、名古屋市民ギャラリーで展覧会を開催し、会員の作品で飾っております。他に、研修会、鑑賞会、スケッチ旅行等、楽しい行事が沢山あります。この会は後援会に関係のある方ならどなたでも入会して頂けます。今年は後援会総会や会報の募集により、新しい4名の方に入会して頂きました。これで絵画を通じて、先生方と、会員との交流が更に深まり、絵画の技術が向上します。どうぞ、皆様のご入会をお待ちいたします。

### 【活動状況】

- 1、月例会(月額会費：1,000円)  
日 時：毎月第3日曜日午後2時～4時  
場 所：名芸大西キャンパス
- 2、グループ展(22回継続中)  
日 時：毎年5月上旬(一週間展示)  
場 所：名古屋市民ギャラリー 7F or 8F
- 3、スケッチ会 11月予定
- 4、日展、二科展、国画展の鑑賞会

### 〈問い合わせ先〉

会 長 宇佐見 誠也  
〒489-0874 瀬戸市幡野町580  
電話：0561-21-4567 携帯：090-7305-8205  
運営委員長 森部 みや子  
〒492-8075 稲沢市下津町西下町58  
電話：0587-32-2814 携帯：090-1825-1671



## 編集後記

関係各方面、皆さまのご協力を得まして、無事に後援会報第61号を発行することが出来ました。改めて皆さまに全力感謝であります。後援会報では、後援会活動の詳細、その成果が報告されています。その内容を資料としながら、後援会活動がより深まる事を願っています。芸術は美の追求こそ王道ですが、愛に根拠のない美は、短命に終わります。でありますから、後援会活動も愛を根拠としながら、限られた予算の中で最大の支援をしたい、その為に悩み、考え続けたいと思います。名古屋芸大の教授陣は優秀でありますし、学ぶ環境も十分に整えられています。しかし、親の背中を見て子は育つと言います。大学生の大半は成人であります、それでも親は子の手本であらねばなりません。後援会活動も現状に甘んずることなく、愛があり、創造性を発揮しながら、益々発展していくべきと考えます。後援会報を読んだご感想など、是非お寄せ下さい。父兄の皆様の積極的な参加を心よりお待ちしております。

広報委員長 佐藤耕太

- ◆発行 名古屋芸術大学・大学院後援会  
〒481-8503  
愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地  
TEL. 0568-24-0315 FAX. 0568-24-0317
- ◆編集 名古屋芸術大学・大学院後援会  
広報委員会
- ◆表紙デザイン  
本学デザイン学科卒業生 武藤理恵子
- ◆封筒デザイン  
本学デザイン学科卒業生 福見光洋
- ◆発行日 2016年(平成28年)9月30日

